ECOVACS

DEEBOT X1 OMNICYCLONE

取扱説明書/Instruction Manual

取扱説明書..... JA | P03

Instruction Manual .....EN | P31

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

電気製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、すべての指示をお読みください。

本取扱説明書は保存してください

1. 本製品は、身体能力、感覚能力、または知力に障がいをお持ちの方、経験や知識の少ない方（お子様を含む）の使用を想定していません。ただし、上記の使用者の安全について責任を負う方により、本製品の使用方法に関する指導または説明を受けている場合には、お使いいただけます。
2. お子様が本製品を使って遊ばないようにご注意ください。
3. 清掃する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から離してください。
4. 清掃する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを本製品を操作して確認してください。ユニットが落下しないように、端に物理的な障壁を設置する必要がある場合があります。その物理的な障壁によってつまずく危険性がないようにしてください。
5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されているアタッチメントのみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品を屋外、ビジネスあるいは産業用途で使用しないでください。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で本製品を使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境（-5°C/23°F 未満あるいは 40°C/104°F 超）では使用しないでください。
11. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。

12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
15. タバコ、マッチ、熱い灰、その他発火の原因となる可能性のある物質を本製品に吸わせないでください。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にゴミ、糸くず、髪、その他空気の流れを悪くする可能性のある物体がたまらないようにしてください。
17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
19. CH2512に適したリチウムバッテリータイプは、最大 4 セル、最大公称電圧 DC 14.4V、定格容量 5,800mAh です。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
20. 使用済みのバッテリーは、各自治体の法規制に従って廃棄してください。
21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
23. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
24. ご使用環境の電源の電圧が、OMNI ステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび OMNI ステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
26. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や OMNI ステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを

挟んだまま部屋の扉を締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、高温の表面から離れた場所に置いてください。

27. OMNI ステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。
28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または OMNI ステーションが適切に動作しない場合、落下した場合、損傷した場合、屋外に放置された場合、または水に接触した場合は使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
29. OMNI ステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を OMNI ステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. OMNI ステーションを長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
32. ロボットを長期間使用しない場合は、ロボットの電源をオフにして保管し、OMNI ステーションの電源プラグを抜いてください。
33. 警告—清水タンクにはきれいな水だけを入れてください。
34. **警告：**バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2512 を必ず使用してください。

高周波（RF）曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離したままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

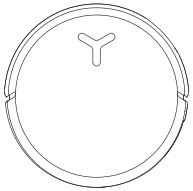
デバイスの更新

通常、一部のデバイスは 2 ヵ月ごとにアップデートされますが、時期ははっきりと決まっていません。一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

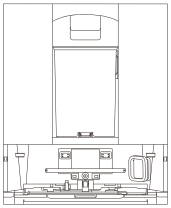
	注意：表面が熱くなります
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

パッケージ内容

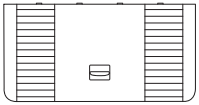
❶ パッケージ内容物



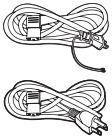
DEEBOT



OMNI ステーション



ベース



電源コード



取扱説明書



コーナーガード

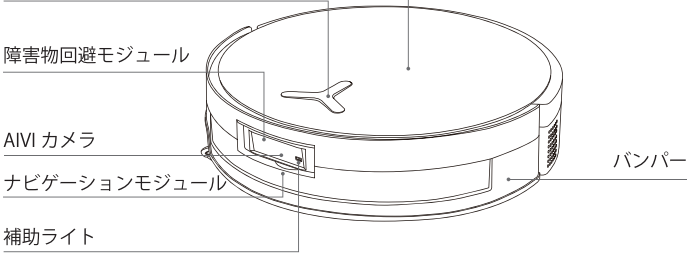
注：

- ユーザーの安全性を高め、取り扱いの快適性を向上させるために、考慮されたコーナーガードが一対付属しています。
  取り付け方法：コーナーガードの内側のスロットを端に合わせて、押し込んで固定します。すべての DEEBOT のコーナーデザインに対応しています。
- 本取扱説明書の図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

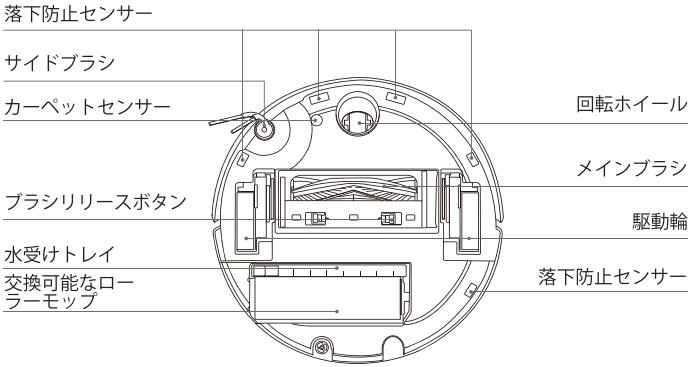
❷ 製品構成

1. DEEBOT 正面図

DEEBOT のボタン
短押し：開始 / 一時停止
3 秒長押し：ステーションに戻る
ダブルタップ：モップのリリース / リトラクト（DEEBOT がステーションにない場合）

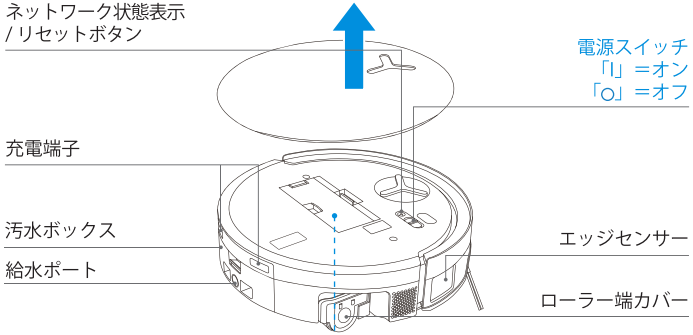


2. DEEBOT 底面図

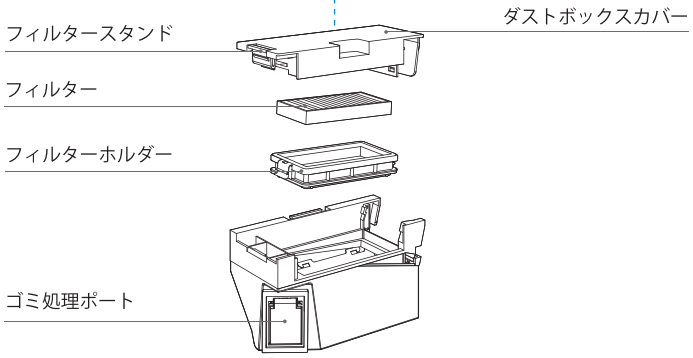


3. DEEBOT 内部（トップカバー下）

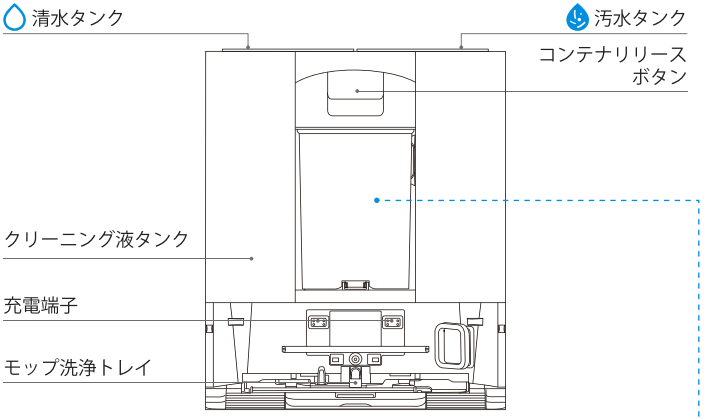
リセットボタン
ネットワーク設定：リセットボタンを押すと、DEEBOT をアプリに接続するための音声プロンプトが流れます。
デフォルト設定に戻す：リセットボタンを 5 秒間長押しします。音声プロンプトに続いて起動音が流れ、DEEBOT はデフォルト設定に復元されます。この機能を使用する際は注意してください。



4. ダストボックス

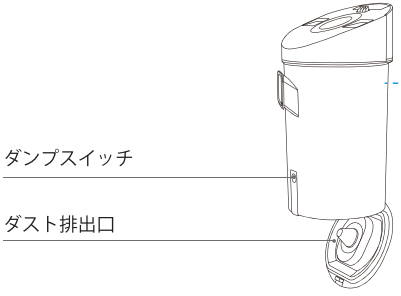


5. OMNI ステーション正面図

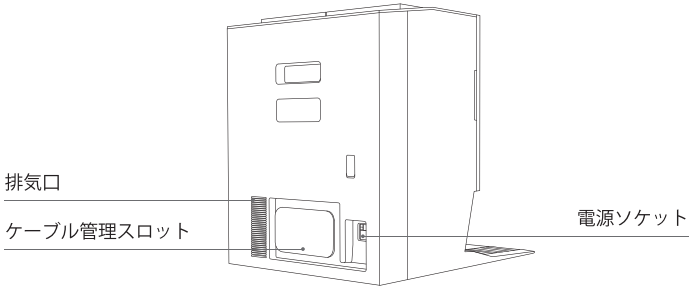


注:
- オレンジ色の点滅：ECOVACS HOME アプリで異常の原因を確認してください。
- DEEBOT が充電できない場合は、充電端子をきれいな乾いた布クロスで拭いてください。

6. ダストカン



7. OMNI ステーション背面図



8. インジケーターライト

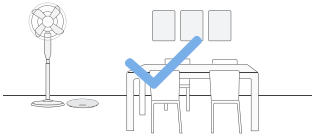
ライトの状態	ステータス
白色でゆっくり点滅	充電中
白色で点灯	フル充電 / 走行中
赤色で点灯	電池残量が少なくなっています
赤色で点滅	DEEBOT アラーム
オレンジ色で点滅	ステーションアラーム

9. センサーの概要

名前	機能の説明
ナビゲーションモジュール	レーザー測距により反射の時間差に基づいて DEEBOT と周囲の距離を測定することで、DEEBOT の移動中に周囲の物体に対してマッピングができます。検出距離は 10 m です。
障害物回避モジュール	赤外線測距と相似三角形を用いて、周囲の物体と DEEBOT 間の距離を測定します。センサーが近くの物体を検出すると、DEEBOT は自動的に方向転換して物体にぶつからないようにします。検出距離は 0.3 m です。
落下防止センサー	飛行時間（dToF）の原理を利用し、DEEBOT の底部にある dToF センサーが DEEBOT と床面との距離を測定し続けます。一方、底部の赤外線センサーは、赤外線測距技術により距離を検出します。前方に階段がある場合（白い床面で高さ 55 mm 以上、黒い床面で高さ 30 mm 以上など）、識別した高さが設定した高さを超えると DEEBOT は前進を停止し、落下防止機能が働きます。
カーペットセンサー	センサーは 300 kHz の超音波を発信し、そのエネルギーはカーペットに吸収されるため、反射エネルギーは閾値より低くなります。これにより DEEBOT はカーペットの存在を検知します。ECOVACS ラボのテストによると、市販されている 50 種類以上のカーペットを識別できます。
衝突防止センサー	オプトカプラスイッチの原理により、DEEBOT は衝突しそうになった障害物を回避します。
エッジセンサー	赤外線測距により、エッジセンサーが DEEBOT と側面の物体との距離を検出します。右側に壁や障害物がある場合、DEEBOT は壁際清掃を実行して、スポットの見落としを防ぎ、衝突を回避します。
AIVI カメラ	AI カメラを使って周辺環境の画像を収集します。動画の録画が可能です。マイクとの連携で、リモート動画通話ができます。
マイクロホン	マイクロホンは、空気中を伝わる人間の音声によって生じる振動板の振動によって音をとらえます。これにより、音声録音と音声操作が可能になり、サウンドモデルの取得とアルゴリズムを利用して、DEEBOT に割り当てられた仕事を完了するよう指示できます。有効なウェイクアップ距離は 5 m です。

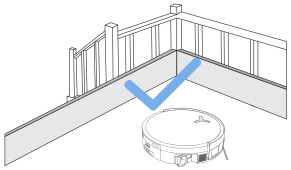
初期設定と使い方

❶ 清掃前の注意事項



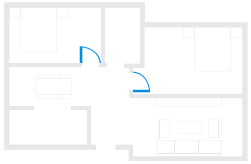
清掃する場所を片付ける

清掃面積を最大にするため、DEEBOT を使用する前に、テーブル、椅子、床置き扇風機などの家具を適切な場所に置き、体重計などの低い位置にあるものを片付けてください。



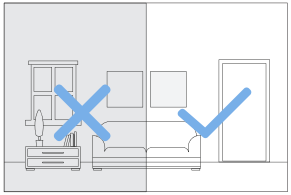
DEEBOTの落下を防ぐ

階段や段差などの落差のある端に物理的な障壁を設置し、DEEBOT が端から落ちないようにします。



部屋の扉を開けてDEEBOTの探索を助ける

初めてご利用いただく際には、DEEBOT がご自宅の中を十分に探索できるように、すべての部屋の扉を開けてください。



十分な明るさを確保する

DEEBOT の AI カメラが靴、靴下、コードなどの障害物を正確に回避できるよう、すべての清掃領域に十分な明るさがあることを確認してください。



清掃効率を上げるため、ケーブル、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



縁に房飾りのあるカーペットの上で本製品を使用する場合は、房飾りをカーペットの下に折り込んでください。



ナビゲーションモジュールの妨げにならないよう、廊下などの狭い場所には立たないでください。



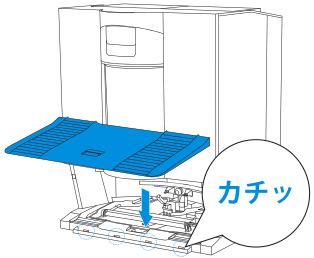
ロボットの視界をクリアに保ち、指紋や油汚れで AI カメラのレンズに傷をつけたり汚したりしないでください。カメラを拭くときは、洗浄剤、洗剤、スプレーではなく、清潔な柔らかいクロスを使用してください。

❷ クイックスタート

本製品を使用する前に、保護材をすべて取り外してください。

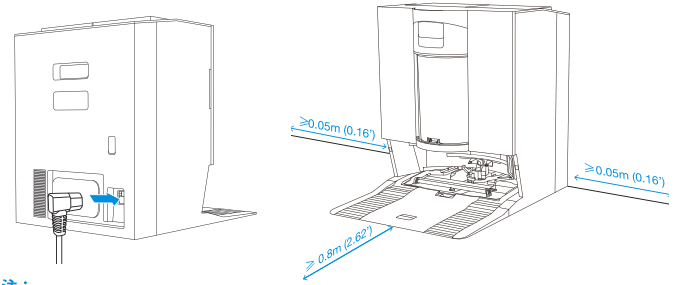
1. ステーションの設置

「カチッ」という音がして、正しく取り付けられたことを示します。



2. ステーションの組み立てと配置

OMNIステーションを平坦で硬い床の上に置き、壁に寄せて設置してください。左右0.05 m以内、前方0.8 m以内に障害物を置かないでください。余った電源コードはステーション背面のケーブル管理スロットに巻きつけてください。



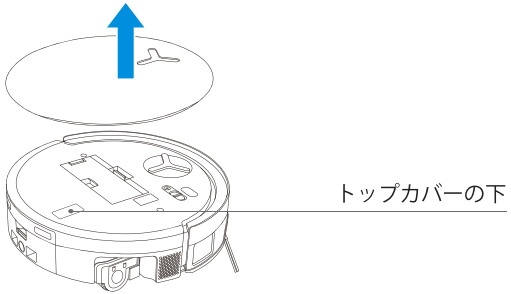
注：

- 鏡や光を反射する幅木などの反射物がステーションの近くにある場合は、その反射物の下から14 cm を覆う必要があります。
- ステーションを直射日光の当たる場所や高温の場所に置かないでください。
- Wi-Fi 信号が強い場所にステーションを設置することで、より快適にご利用いただけます。

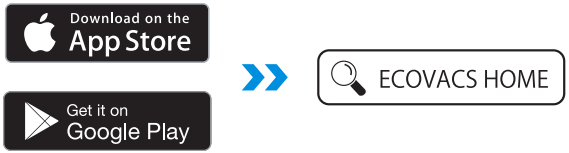
❸ ECOVACS HOME アプリをダウンロード

利用可能なすべての機能を活用するために、ECOVACS HOME アプリから DEEBOT を操作することをお勧めします。

1. トップカバーの下の QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードします。



2. App Store または Google Play で「ECOVACS HOME」を検索し、アプリをダウンロードします。



注：アプリの指示に従って、登録、ログイン、接続を完了してください。

❹ DEEBOT とアプリの接続

Bluetooth 経由：DEEBOT とスマートフォンの Bluetooth をオンにします アプリにスマートフォンの Bluetooth 権限取得を許可します。タップして DEEBOT の QR コードをスキャンするか、アプリで または Add をタップして近くの DEEBOT を探します。

Wi-Fi 経由：アプリのページに表示される指示に従って、DEEBOT とアプリを他の方法で接続することもできます。

注：より快適にご利用いただくために、Bluetooth 経由で接続してください。

Wi-Fi ネットワークの要件：
- 2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していること。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルに対応していること。
- VPN（バーチャルプライベートネットワーク）やプロキシサーバーを使用しないでください。
- 非公開ネットワークを使用しないでください。
- WPA および WPA2 で TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化を使用する。
- WEP EAP（エンタープライズ認証プロトコル）には対応していません。
- 北米では Wi-Fi チャンネルに 1 ～ 11、北米以外ではチャンネルに 1 ～ 13 を使用してください（地域の規制機関を参照のこと）。
- ネットワーク中継機 / リピータを使用している場合は、ネットワーク名（SSID）とパスワードはプライマリネットワークと同じにしてください。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

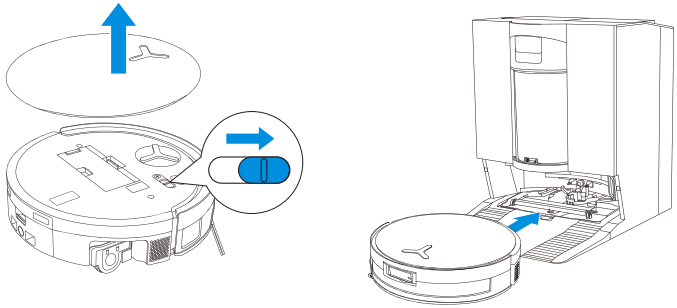
Wi-Fiインジケーターライト

	白色でゆっくり点滅	Wi-Fi 接続なし
	白色で素早く点滅	接続中
	白色で点灯	Wi-Fi 接続済み

遠隔起動、音声操作、2D/3Dマップの表示と制御設定、パーソナライズされた清掃（製品によって異なります）などのインテリジェント機能には、常に更新されているECOVACS HOMEアプリが必要です。お客様がECOVACS HOMEアプリの特定の機能を使用して本製品を操作できるようにするには、当社がお客様の基本的かつ必要な情報の一部を処理するために、当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意する必要があります。当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意いただけない場合、上記の機能はご利用いただけません。ただし、手動操作では本製品の基本機能を引き続き使用できます。

❺ DEEBOT の電源オンと充電

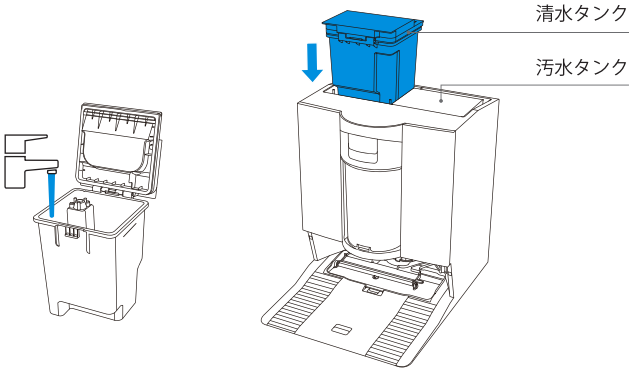
DEEBOTのカバーの下にある電源スイッチ（**「I」＝オン、「○」＝オフ**）をオンにして、DEEBOTを電源に接続されたステーションの前に置きます。ECOVACS HOMEアプリまたは音声操作でDEEBOTを呼び出すか、DEEBOTの ⏻ を3秒間長押しすると、DEEBOTが充電のためにステーションに戻ります。



注：
- DEEBOT は電源がオフになっていると充電できません。
- 清掃後、DEEBOT が次の清掃に備えるために、電源をオンにしたまま充電しておくことをお勧めします。
- 清掃後、DEEBOT がスムーズに充電に戻れるように、清掃はステーションから開始し、清掃中にステーションを動かさないでください。

⑥ 清水タンクに水を入れる

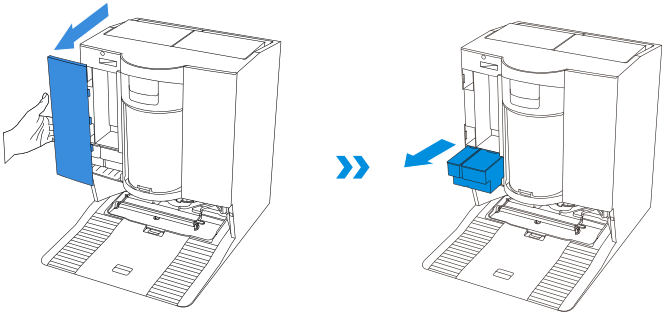
清水タンクを取り出して、タンクカバーを開けて水を注ぐ。タンクカバーを閉じて清水タンクを再び取り付ける。



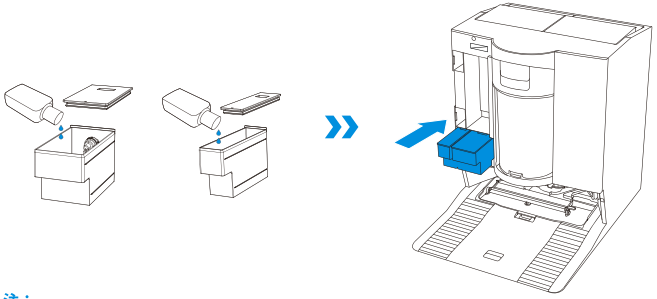
注：
- 異常を避けるため、ECOVACS DEEBOT クリーニング液のみを使用してください。
- タンクを設置する前に、清潔な乾いた布クロスでタンク表面の水分を拭き取ってください。
- 使用前に、両方の水タンクの上部カバーを確実にロックしてください。
- 水タンクに水跡がある場合がありますが、機能テストによるものです。安心してお使いください。

⑦ クリーニング液（別売）を入れる

1. クリーニング液タンクのカバーを外し、2つのクリーニング液ボックスを引き出し、硬い水平面に置きます。

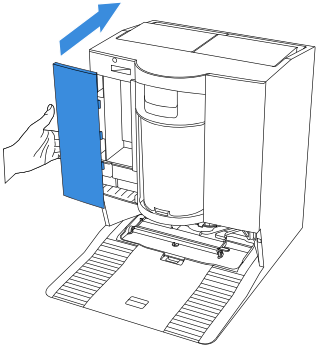


2. 標準クリーニング液を青い箱に、強力クリーニング液を黒い箱に注ぎます。ボックスの蓋を閉じたら、ステーションに押し戻し、タンクの蓋を閉めます。



注：
- 製品の性能を改善し、より長持ちさせるには、ECOVACS DEEBOT クリーニング液（別売）をご使用ください。
- 清水タンクにクリーニング液を注がないでください。クリーニング液は、クリーニング液タンクに入れてください。そうしないと、比率が不適切になって泡が立ちすぎたり、洗浄効果が低下したりする場合があります。

3. クリーニング液タンクのカバーを戻し、カバーをしっかりと押して固定します。



注： クリーニング液ボックスに異物が入らないようにご注意ください。

8 DEEBOT の清掃操作

1. マッピングの開始

初めてマップを作成するときは、DEEBOT に付き添い、いくつかの小さな問題を解決してください。
例えば、DEEBOT は家具の下に入って動けなくなることがあります。次の解決策を参考にしてください。
①高さの低い家具の場合は、可能であれば高さを上げます。
②家具の下部に覆いをかけます。
③アプリで仮想境界線を設定します。

2. 清掃の開始

- DEEBOTの水タンクはステーションによって自動的に補充されます。手動で補充する必要はありません。
- 水拭きをするとき、DEEBOTは床の種類を認識し、カーペットに遭遇すると自動的にモップを持ち上げることができます。長毛カーペットや、繊維の長さが10 mmを超えるカーペットの上でDEEBOTを使用しないでください。清掃中は、長毛カーペットや繊維の長さが10 mmを超えるカーペットをたたむか、ECOVACS HOMEアプリで仮想境界線を設定して長毛カーペットが敷かれた領域を立ち入り禁止ゾーンに設定することをお勧めします。

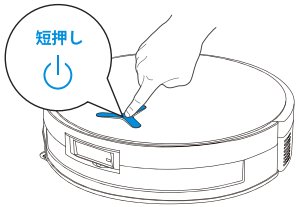
初めて清掃を行う前に、DEEBOT がステーション内にあり、フル充電されていることを確認してください。DEEBOT の ⏻ をタップして開始します。ECOVACS HOME アプリや音声操作を使って開始することもできます。

3. 一時停止

DEEBOT の ⏻ をタップすると、DEEBOT が動作中に一時停止します。ECOVACS HOME アプリや音声操作を使って DEEBOT を一時停止することもできます。

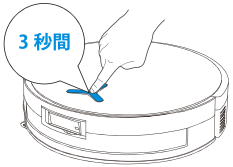
4. 起動

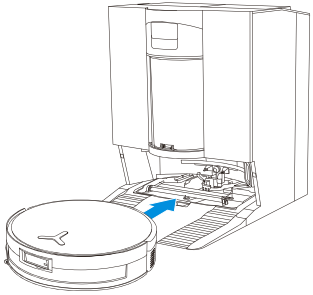
しばらく停止すると、DEEBOT のすべてのインジケーターライトが消灯します。DEEBOT を起動するには、⏻ を押してください。



5. ステーションに戻る

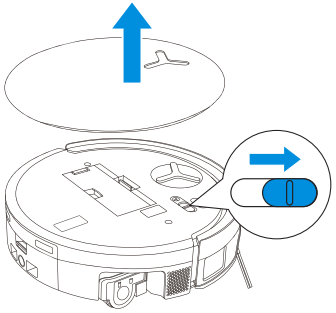
ECOVACS HOME アプリまたは音声操作で DEEBOT を呼び出すか、DEEBOT の ⏻ ボタンを 3 秒間長押しすると、DEEBOT が充電のためにステーションに戻ります。





6. 深いスリープモード

DEEBOTは、約10時間ステーションの外に留まると、バッテリーを保護するために深いスリープモードに入ります。DEEBOTを起動するには、電源をオフにしてからオンにしてください。



パワーブースト充電が有効な場合、DEEBOTはステーションに戻った後、約5分間高速充電を行います。その後は標準充電に切り替わり、満充電になると自動で停止します。

定期的なメンテナンス

❶ メンテナンス頻度

DEEBOT の性能を最適に保つため、次の頻度でメンテナンス作業や部品の交換を実行してください。

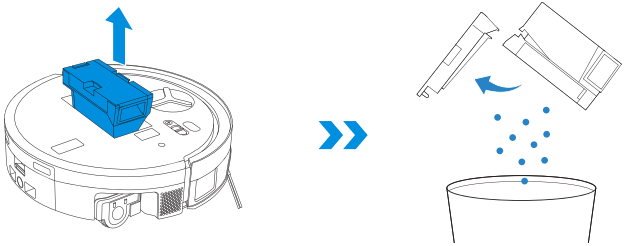
部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるローラーモップ	/	1 ～ 2 ヵ月ごと
汚水ボックス	毎週	/
水受けトレイ	毎週	/
サイドブラシ	2 週ごと	3 ～ 6 ヵ月ごと
メインブラシ	毎週	6 ～ 12 ヵ月ごと
フィルター	毎週	3 ～ 6 ヵ月ごと
回転ホイール 落下防止センサー バンパー DEEBOT の充電端子 OMNI ステーションの充電端子 ナビゲーションモジュール AIVI カメラ	およそ 毎月	/
清水タンク	3 ヵ月ごと	/
汚水タンク	毎月	/
ステーション本体と底部	毎月	/
モップ洗浄トレイ	5 ヵ月ごと	/
クリーニング液ユニット	毎月	/
ダストカン	使用後毎回	/
ダストカンフィルター	3 ～ 6 ヵ月ごと	3 ～ 6 ヵ月ごと / 複数回洗浄したあと

注：その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com をご参照ください。

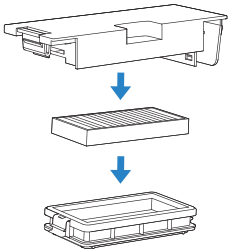
❷ DEEBOT メンテナンス

1. ダストボックスとフィルターのメンテナンス

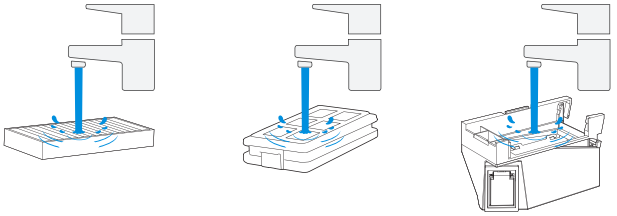
1. ダストボックスを取り外して、空にします。



2. フィルターネットを開いて、フィルターを取り外します。

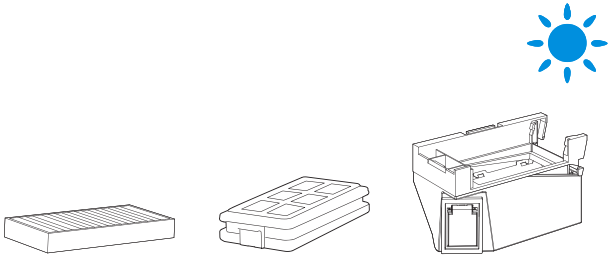


3. ダストボックスとフィルターを水ですすぎ、水滴を振り落とします。



注：
• 上記のように、フィルターを水ですすいでください。
• フィルターの清掃に指やブラシを使用しないでください。

4. ダストボックスとフィルターを自然乾燥します。

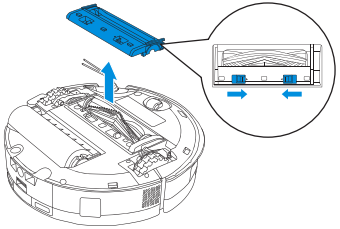


注：使用前に部品を完全に乾かしてください。

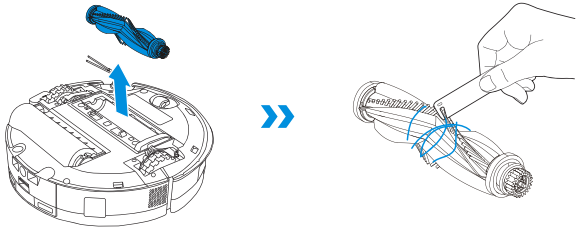
2. メインブラシとサイドブラシのメンテナンス

メインブラシの清掃

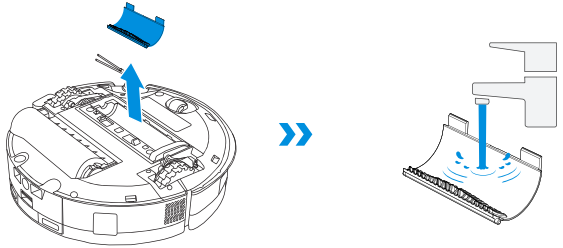
1. メインブラシのカバーを取り外します。
DEEBOTを裏返す前に、汚水タンクと水受けトレイに残っている水を空にしてください。



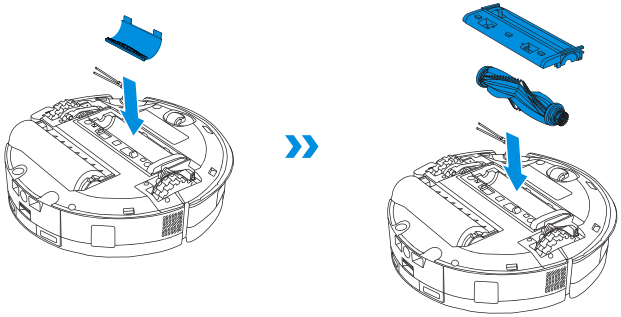
2. メインブラシを取り外して清掃します。



3. ブラシコームを取り外し、洗浄し、乾燥させます。

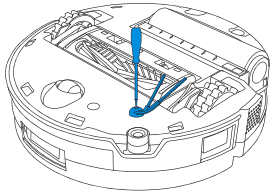


4. ブラシコーム、メインブラシ、カバーを取り付けます。



サイドブラシの清掃

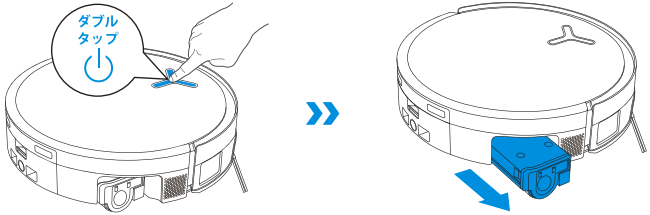
サイドブラシをドライバーで取り外して清掃します。



3. ローラーモップのメンテナンス

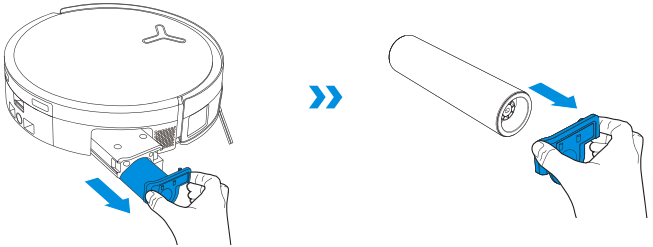
ローラーモップの清掃

1. ⏻ ボタンをダブルタップして、ローラーモップの部品を取り外します。

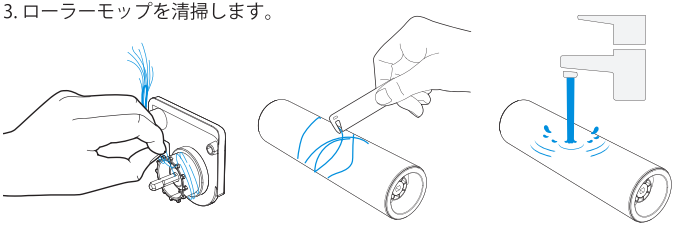


注：収納された状態のローラーを無理に引っ張らないでください。ローラーモップの部品が破損するおそれがあります。

2. 横方向ロック解除ボタンを押して、ローラーを取り外します。



3. ローラーモップを清掃します。

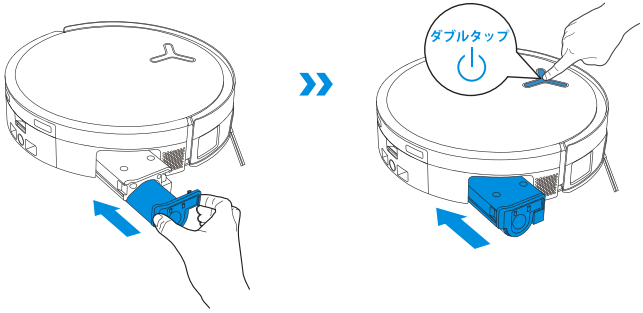


4. ローラー内部を清掃します。



注：DEEBOTを水で洗わないでください。

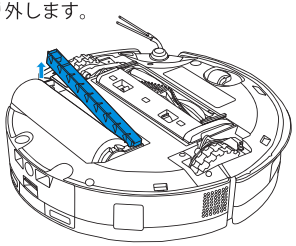
5. ローラーモップをローラー端カバーに押し込み、⏻ ボタンをダブルタップして収納します。



注：その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com をご参照ください。

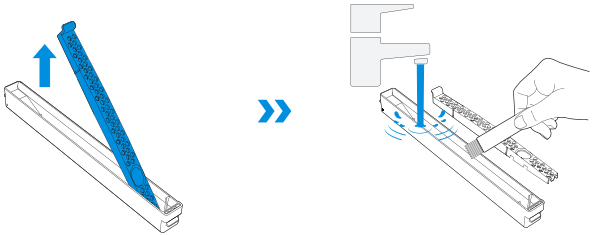
4. 水受けトレイのメンテナンス

1. 水受けトレイを取り外します。

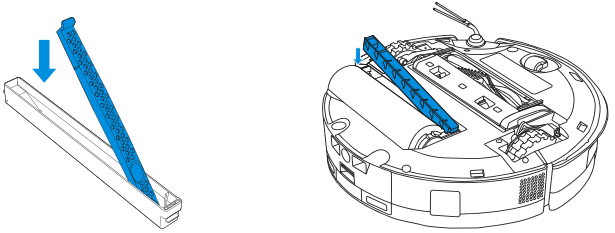


注：乾燥モードでない場合、DEEBOTを裏返したときに少量の残った水が漏れることがあります。

2. 水受けトレイの部品を取り外し、清掃します。

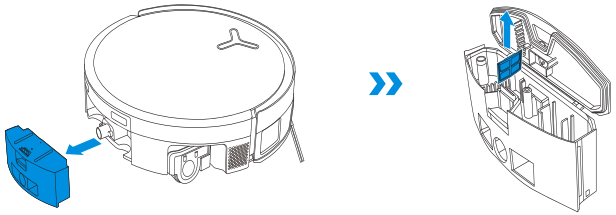


3. 図のように水受けトレイフィルター部品を取り付けてください。

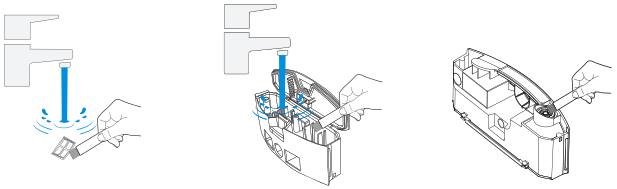


5. 汚水ボックスのメンテナンス

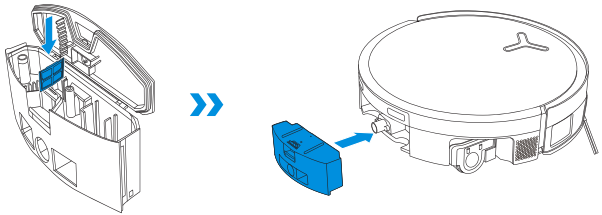
1. 汚水ボックスとフィルターネットを取り外します。



2. フィルターネット、ボックス、汚水排出口を清掃します。



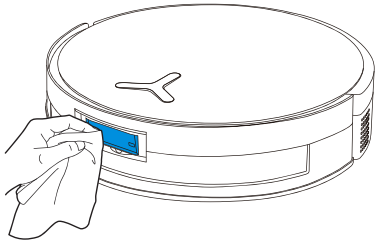
3. フィルターを再度取り付け、しっかりと押してから、汚水ボックスカバーを再度取り付けます。



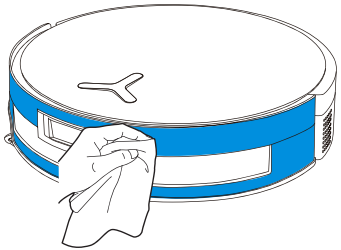
汚水ボックスカバーの平面がボックスの上端と完全に同じ面になるまで、ガイド方向にしっかりと押し、確実に密閉します。

6. その他の部品のメンテナンス

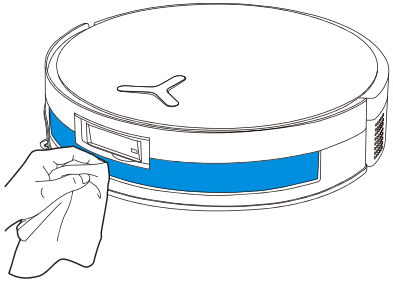
障害物回避モジュールレンズの清掃



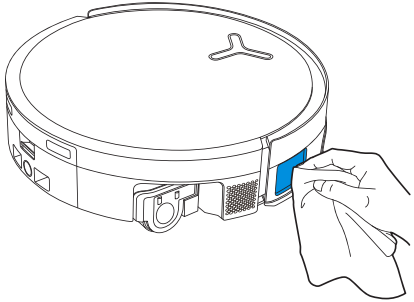
バンパーの清掃



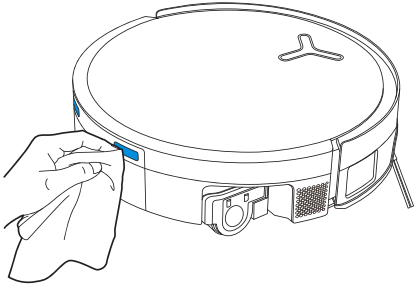
ナビゲーションモジュールの清掃



エッジセンサーの清掃



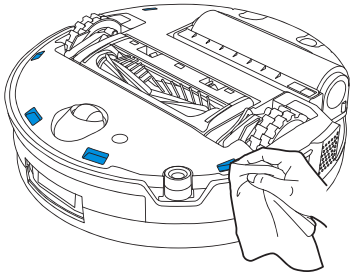
充電端子の清掃



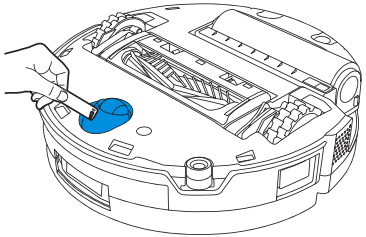
注：

- 部品はきれいな乾いた布クロスで拭いてください。濡れたクロスは絶対に使用しないでください。水分は損傷の原因となるため、クリーニングスプレーや洗剤は使用しないでください。
- 充電端子には繊細な電子部品が含まれています。乾いた布クロスで拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れたクロスは使用しないでください。

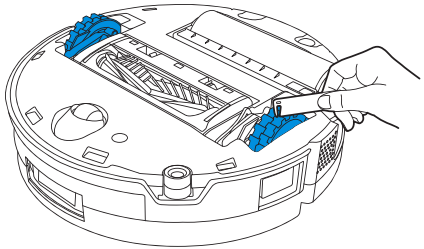
落下防止センサーの清掃



回転ホイールの清掃



駆動輪の清掃

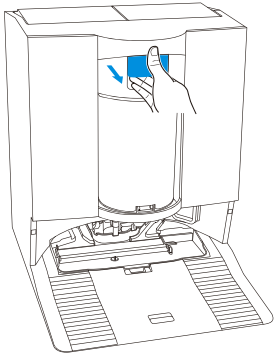


注：その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com をご参照ください。

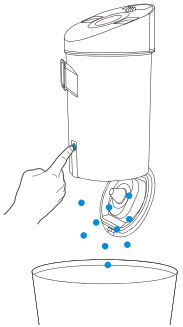
❸ ステーションのメンテナンス

1. ダストカンとフィルターのメンテナンス

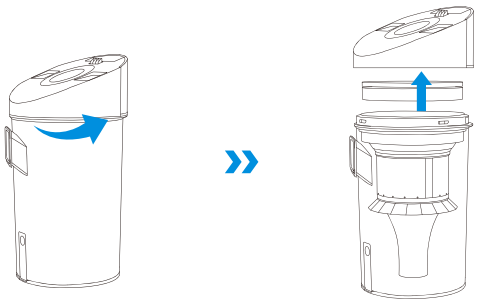
1. コンテナリリースボタンを押し、ダストカンを取り外します。



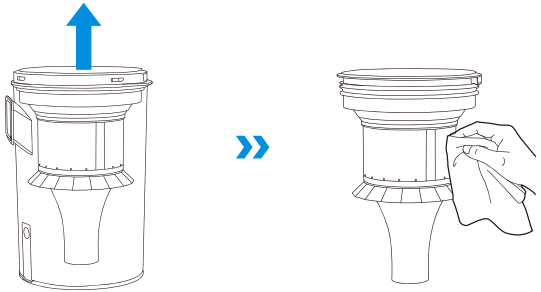
2. ダストカンを底をゴミ箱に向けて持ち、ダンプスイッチを押すと、ダストカンの底カバーが開いてゴミが捨てられます。



3. 上部をひねって外し、フィルターを取り外します。

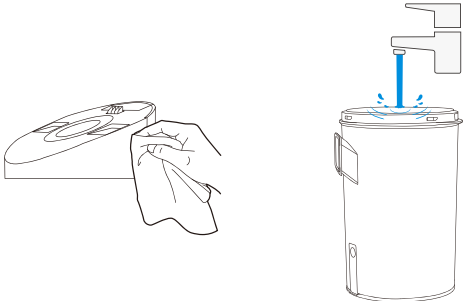


4. マルチコーン構造を取り外します。



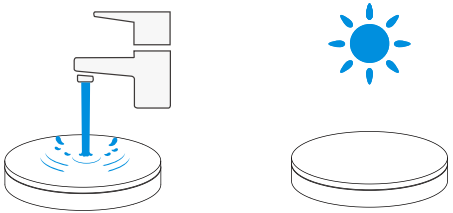
注：マルチコーン構造を洗うことはお勧めしません。必要であれば、濡れたクロスで拭き、自然乾燥させても構いません。

5. 容器を水ですすぐか、濡れたクロスで拭きます。



注：再度使用する前に、必ずダストカンを自然乾燥させてください。

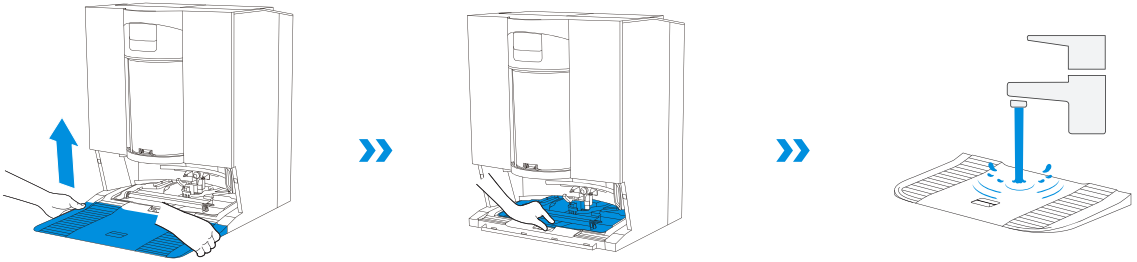
6. ダストカンとスポンジフィルターを水ですすぎ、乾燥させます。



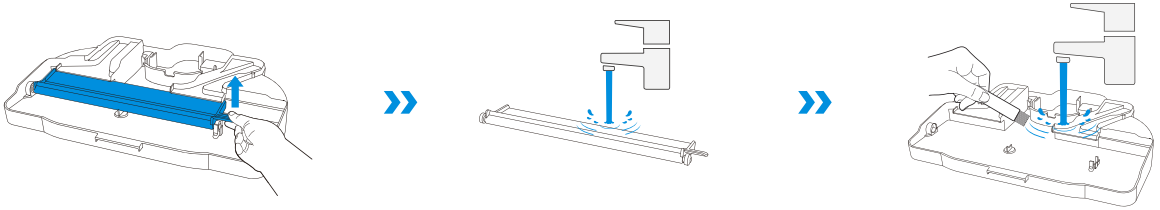
注：使用前にフィルターを完全に乾かしてください。

2. モップ洗浄トレイのメンテナンス

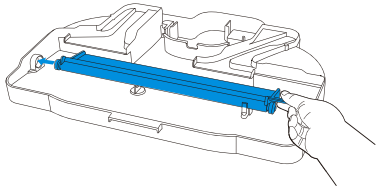
1. モップ洗浄トレイとステーションベースを取り外して清掃します。



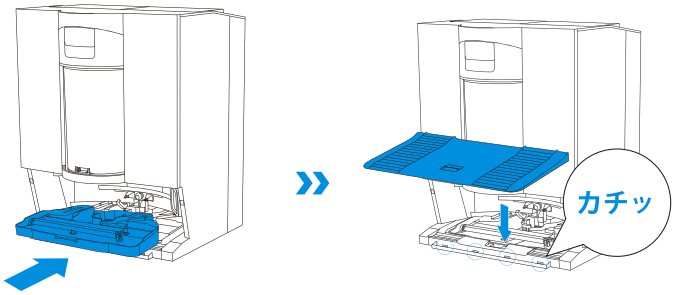
2. 浸漬トレイを取り外して洗浄します。



3. 浸漬トレイを取り付けます。



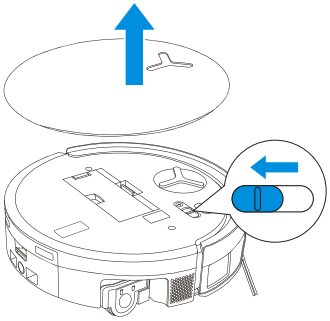
4. モップ洗浄トレイとベースを取り付けます。



注：異常を防ぐため、トレイとベースは正しく取り付けてください。

❹ 保管

保管する前に DEEBOT を完全に充電し、スイッチをオフにしてください。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5 ヵ月ごとに再充電してください。



DEEBOT は電源オフの状態では充電できませんのでご注意ください。

注：

- DEEBOTが清掃作業を終えた後は、次の清掃に備えるため、電源をオフにせずに充電し続けることをお勧めします。
- バッテリーが過放電になったり、長期間使用されなかった場合、DEEBOTが充電されないことがあります。この場合は、ECOVACSまでお問い合わせください。自分でバッテリーを分解しないでください。
- 製品を長期間使用しない場合は、汚水ボックス、水タンクを空にし、モップを乾いた状態に保ってください。

トラブルシューティング

以下の起こりうる問題については、対応する解決策を参照してください。

番号	異常	考えられる原因	解決方法
1	DEEBOT が ECOVACS HOME アプリに接続できない。	入力した Wi-Fi ユーザー名またはパスワードが間違っています。	正しい Wi-Fi ユーザー名とパスワードを入力してください。
		DEEBOT がご自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にありません。	DEEBOT がご自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にあることを確認してください。できるだけルーターの近くに設置してください。
		DEEBOT が設定状態になっていません。	リセットボタンを押して、DEEBOT を Bluetooth でお手持ちのスマートフォンに接続します。失敗した場合は、リセットボタンと⏻を押し、ECOVACS HOME アプリ経由で接続してください。
		Wi-Fi リストにご自宅の Wi-Fi がありません。	1.Wi-Fi 名に特殊文字が含まれていないか確認してください。次のような特殊文字は使用できません。!@#& ¥%/\ 2. 5GHz ネットワークは使用しないでください。
		誤ったアプリがインストールされています。	ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてインストールしてください。
2	アプリで家具マップを作成できない。	清掃中に DEEBOT を移動すると、マップが失われることがあります。	清掃中は DEEBOT を動かさないでください。
		自動清掃が完了していません。	清掃後、DEEBOT が自動的に OMNI ステーションに戻ることを確認してください。
		2 つ目のマップ作成時にマルチフロアモードが有効化されていませんでした。	アプリでマルチフロアモードを有効にしてください。
3	使用中にサイドブラシが外れる。	サイドブラシが正しく取り付けられていません。	ドライバーでサイドブラシを取り付ける際に、ネジがしっかり締まっていることを確認してください。
4	信号が見つからない。ステーションに戻れない。	OMNI ステーションが正しく設置されていません。	**[DEEBOT の電源オンと充電]** セクションの指示に従って、ステーションを正しく設置してください。
		OMNI ステーションの電源が切れているか、移動されています。	OMNI ステーションが電源に接続されているか確認してください。OMNI ステーションを移動しないでください。
		DEEBOT が OMNI ステーションから清掃を開始していません。	DEEBOT は OMNI ステーションから清掃を開始することをお勧めします。
		ドッキングルートがブロックされています。たとえば、OMNI ステーションが設置されている部屋の扉が閉まっている場合などです。	充電ルートに遮蔽物がないようにしてください。
5	清掃が終了する前に DEEBOT が OMNI ステーションへ戻ってしまう。	部屋が広いため、DEEBOT は充電のために戻る必要があります。	中断後再開清掃機能を有効にしてください。詳細については、アプリの指示に従ってください。
		住宅の間取りが非常に複雑な場合は、清掃効率が低下し、掃き残しが生じる可能性があります。	ご自宅の間取りをシンプルにしてください。

番号	異常	考えられる原因	解決方法
6	DEEBOT が充電できない。	DEEBOT がオンになっていません。	DEEBOT をオンにしてください。
		DEEBOT の充電端子が OMNI ステーションの充電端子に接続されていません。	DEEBOT の充電端子がステーションの充電端子に接続されており、⏻が点滅していることを確認してください。DEEBOT と OMNI ステーションの充電端子が汚れていないか確認してください。[定期的なメンテナンス] セクションの指示に従って、これらの部品を清掃してください。
		OMNI ステーションが電源に接続されていません。	1. OMNI ステーションが電源に接続されていることを確認してください。 2. 電源を接続したら、モーター起動音が聞こえることを確認してください。
		ベースが正しく設置されていません。	[クイックスタート] セクションを参照して、正しく設置してください。
7	DEEBOT が清掃中に非常に大きな音を立てる。	メインブラシ / サイドブラシが絡まっているか、ダストボックス / フィルターが詰まっています。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストボックス、ローラーモップ、フィルターなどを定期的に清掃することをお勧めします。
		DEEBOT が強力吸引モードまたは最大吸引力モードになっています。	標準モードに切り替えてください。
8	DEEBOT が作業中に動けなくなって停止する。	DEEBOT が床の上の物（電線、カーテン、カーペットの縁など）に絡まっています。	DEEBOT は様々な方法で脱出を試みます。失敗した場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		DEEBOT が、同じような高さの入り口がある家具の下で動けなくなっているかもしれません。	家具の高さを上げるか、物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界線を設定してください。
		DEEBOT が狭いエリアで動けなくなっています。	ご自宅を片付けるか、物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界線を設定してください。
9	清掃中、移動ルートが乱れたり、動きが偏ったり、同じ場所を繰り返し清掃したり、小さな領域を見落とすといった問題に DEEBOT が遭遇することがある。(一時的に清掃されていない広い領域がある場合、DEEBOT は自動的にその見落とした領域を清掃します。DEEBOT は清掃された部屋に再度入ることがありますが、これは清掃の繰り返しではなく、見落とした領域を見つけている場合があります)	電線やスリッパなどの床に置かれている物が DEEBOT の妨げになっています。	清掃前に、床に散らばった電線やスリッパなどの物をできるだけ片付けてください。清掃中に見落とした領域があれば、DEEBOT は自動的に修正します。DEEBOT を動かしたり、移動ルートを塞いだりするなどの妨げになる行為はご遠慮ください。
		DEEBOT が階段や敷居、ドアストリップに乗り上げた場合、駆動輪が床面でスリップすることがあり、室内環境全体の判断に影響を与えることがあります。	該当領域の部屋の扉を閉め、別途清掃することをお勧めします。清掃後、DEEBOT は開始位置に戻ります。
		ワックスをかけたり磨いたりしたばかりの床や、滑りやすいタイルの上では、駆動輪と床の間の摩擦が少なくなることがあります。	床用ワックスが乾くのを待ってから清掃してください。
		住宅の間取りによって、DEEBOT では入れない領域があります。	DEEBOT が清掃する領域に入れるように、ご自宅を片付けてください。

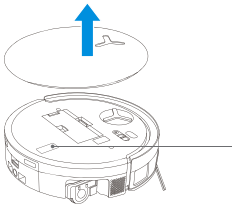
番号	異常	考えられる原因	解決方法
10	リモートコントロールの反応が遅い。	Wi-Fi 信号が弱いため、動画の読み込みが遅くなっています。	DEEBOT は Wi-Fi 信号が良好な場所でお使いください。
11	OMNI ステーションに戻った後、DEEBOT がダストボックスを空にしない。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ収集機能がオンになっていません。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ収集機能をオンにしてください。
		DEEBOT を手動でステーションに戻すと、自動ゴミ収集機能が作動しません。	DEEBOT が自分で OMNI ステーションに戻るまで待つことをお勧めします。手動で移動させないでください。
		お休みモードでは、DEEBOT が OMNI ステーションに戻ってもゴミを空にしません。	ECOVACS HOME アプリでお休みモードをオフにするか、手動でゴミ収集を開始します。
		ステーションがゴミ収集の効率低下を検出しています。	[定期的なメンテナンス] セクションに従って、ダストカンとスポンジフィルターを清掃し、ダストカンを正しく閉じ、ステーションに取り付けてください。
		ダストボックスがいっぱいになって詰まっていないか確認します。	[定期的なメンテナンス] セクションに従ってダストボックスを清掃してください。
		上記の原因が該当しない場合、ステーションの部品に異常がある可能性があります。	カスタマーサービスにお問い合わせください。
12	自動ゴミ収集に失敗した。	ステーションがゴミ収集の効率低下を検出しています。	[定期的なメンテナンス] セクションに従って、ダストカンとスポンジフィルターを清掃し、ダストカンを正しく閉じ、ステーションに取り付けてください。
		ダストボックスのダスト排出口が異物でふさがれています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口の異物を取り除いてください。
		ダストカンが正しく取り付けられていないか、しっかり閉まっていません。	ダストカンを正しく取り付け、しっかり閉めてください。
13	DEEBOT の動作中にゴミが漏れる。	ダストボックスのダスト排出口が異物でふさがれています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口の異物を取り除いてください。
14	ローラーモップが回転しない。	ローラーモップが正しく取り付けられていません。	[定期的なメンテナンス] セクションに従って、ローラーモップを正しく取り付けてください。
		ローラーモップに異物が詰まっています。	[定期的なメンテナンス] セクションに従って、ローラーモップを正しく清掃して取り付けてください。
15	駆動輪が動かなくなっている。	駆動輪が異物によって絡まったり、詰まったりしています。	駆動輪を回転させたり押したりして、異物が巻き付いていないか、引っかかっていないかを確認してください。異物が見つかった場合は、速やかに清掃してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

番号	異常	考えられる原因	解決方法
16	モップ洗浄トレイが水でいっぱいで、排水できない。モップ洗浄トレイの異常を知らせる音声プロンプトが流れる。	汚水タンクが正しく取り付けられていません。	汚水タンクを押し下げて、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクのシーリングプラグが正しく取り付けられていません。	2 つのシーリングプラグが正しく取り付けられていることを確認してください。
		モップ洗浄トレイが正しく取り付けられていません。	モップ洗浄トレイが正しく取り付けられていることを確認してください。
		モップ洗浄トレイベースが汚れています。	モップ洗浄トレイベースを取り外し、水で洗ってください。
		モップ洗浄トレイベースに水がないときにフロートボールが詰まっていないか確認してください。	モップ洗浄トレイを取り出し、フロートボールを元の位置に戻してください。
		OMNI ステーションが正常に排水できません。	DEEBOT をステーションに置いてください。充電が開始したことを確認して、⏻をダブルタップします。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
		モップ洗浄トレイの吸引口が異物でふさがれています。	モップ洗浄トレイの吸引口に異物がないことを確認してください。
		上記の解決策をすべて試しても、音声アラートが消えません。	ステーションの電源をオフにしてから再度オンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
17	汚水ボックスの異常または頻繁な自動洗浄が起きる。	汚水ボックスにゴミに溜まりすぎています。	汚水ボックスを取り外し、空にしてからすすぎ、再度取り付けてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
		水受けトレイにゴミが溜まりすぎています。	水受けトレイを取り外し、空にしてからすすぎ、再度取り付けてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

技術仕様

型番	**DEX99-1**		
定格入力	16.4 V ⎓ 3 A	急速充電時入力	16.4 V ⎓ 9.5 A
充電時間	約 4 時間		
ステーションモデル	**CH2512**		
定格入力	100 V ～ 50-60 Hz		
定格充電出力	16.4 V ⎓ 3 A	急速充電出力（短時間）	16.4 V ⎓ 9.5 A
定格入力電流（充電時）	2.5A	電流（ゴミ収集時）	4.5 A
電流（温水洗浄モップ）	12.5 A	電流（モップ乾燥時）	6.5 A
周波数帯	2400-2483.5 MHz		
ネットワークスタンバイ電力	2.00 W 未満		

無線モジュールの出力電力は 100 mW 未満です。
注：継続的な製品改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。
その他のアクセサリーについては、https://www.ecovacs.com をご参照ください。



モバイルカメラでQRコードをスキャンして、
ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE
SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or metal capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below -5℃/23℉ or above 40℃/104℉).
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or

any item that may clog the Appliance.

14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
19. The lithium battery type suitable for CH2512 is Max. 4 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 5,800mAh.The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
27. Do not use the OMNI Station if it is damaged.

The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.

28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
33. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2512 provided with the Appliance.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

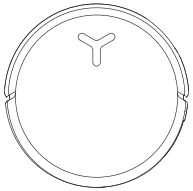
Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

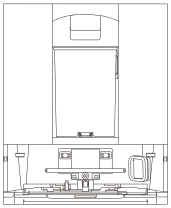
	Caution: hot surface
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

PACKAGE COMPONENTS

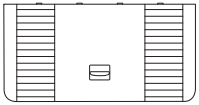
❶ Package Contents



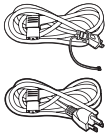
DEEBOT



OMNI Station



Base



Power Cord



Instruction Manual



Corner guard

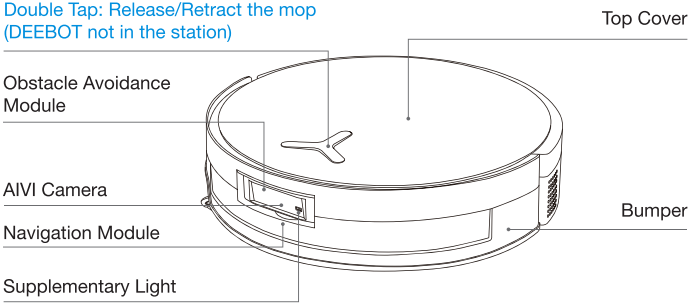
Note:

- A thoughtful pair of corner guards is included to enhance user safety and improve handling comfort.
  To install: Align the inner slot of the corner guard with the edge and press it into place. Compatible with all DEEBOT corner designs.
- Figures in this manual are for reference only and may differ from the appliance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

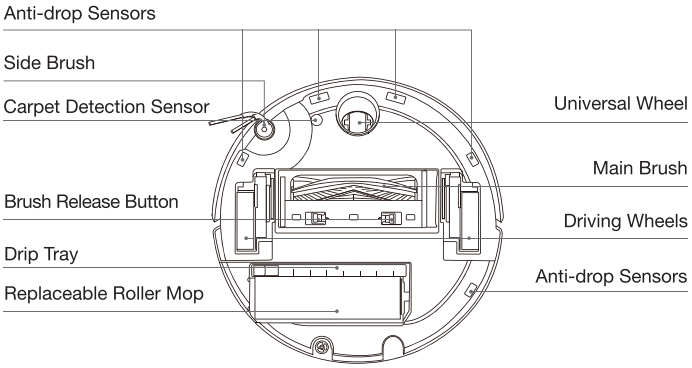
❷ Product Diagram

1. DEEBOT Front View

Buttons on DEEBOT
Press: Toggle start/Pause
Press for 3 s: Return to the station
Double Tap: Release/Retract the mop
(DEEBOT not in the station)

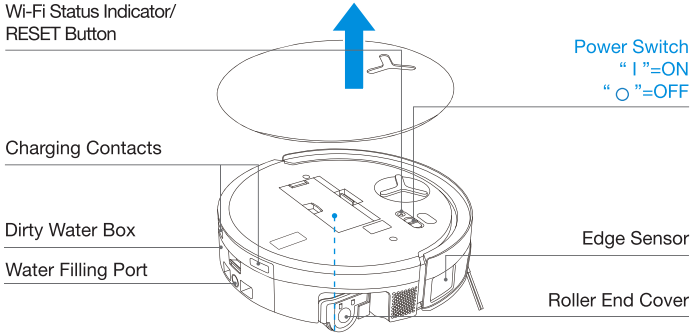


2. DEEBOT Bottom View

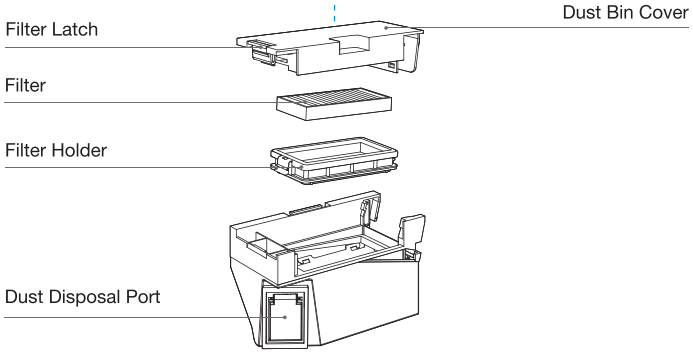


3. Inside DEEBOT (Under the Top Cover)

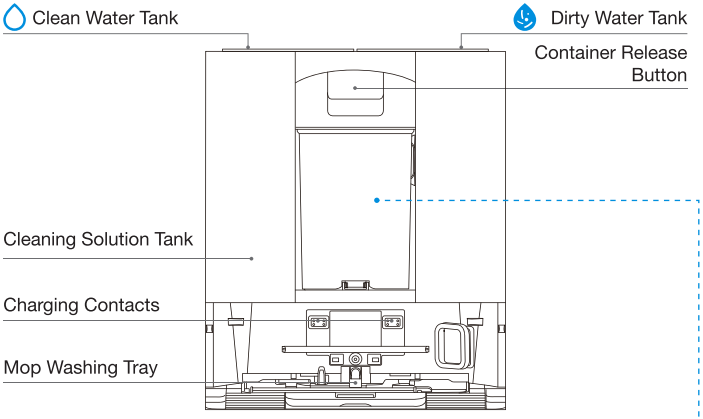
RESET Button
Network Setup: Press the RESET Button, and a voice prompt will be heard to connect DEEBOT to the App.
Restore default settings: Press and hold the RESET button for 5 seconds. After hearing the voice prompt, the startup music will play, and DEEBOT will be restored to its default settings. Exercise caution when using this function.



4. Dust Bin

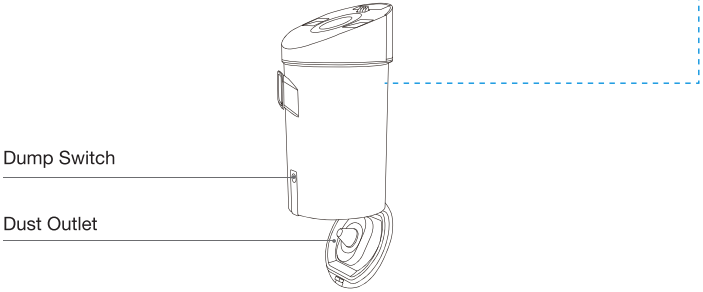


5. OMNI Station Front View

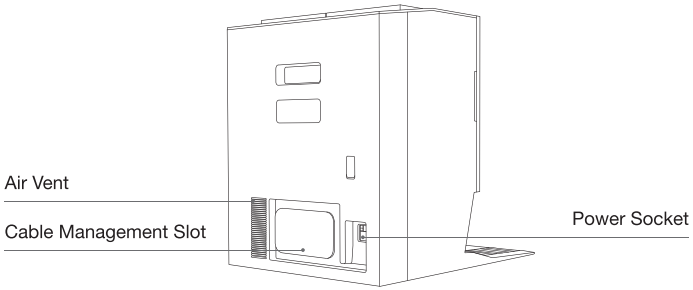


Note:
- Flashing Orange: Please check the ECOVACS HOME App for the cause of the malfunction.
- If DEEBOT fails to charge, please wipe the charging contacts with a clean and dry cloth.

6. Dust Container



7. OMNI Station Back View



8. Indicator Light

Light Effect	State
Breathing White	Charging
Solid White	Fully Charged/Running
Solid Red	Low Battery
Flashing Red	DEEBOT Alarm
Flashing Orange	Station Alarm

9. Sensors Overview

Name	Functional Description
Navigation Module	Laser Ranging is applied to measure the distance between DEEBOT and surrounding objects based on the time difference of reflection, allowing the module to map against the objects around while DEEBOT is moving. The detection range is 10 m.
Obstacle Avoidance Module	Infrared Ranging and similar triangles are applied to measure the distance between the surrounding objects and DEEBOT. When the sensor detects an object nearby, DEEBOT will automatically take a turn to avoid bumping into the object. The detection range is 0.3 m.
Anti-drop Sensors	Using the Time-of-Flight (dToF) principle, the dToF sensor located on DEEBOT's bottom continuously measures the distance between DEEBOT and the ground. Meanwhile, infrared sensors on the bottom detect the distance using infrared ranging technology. DEEBOT will not move forward when there are stairs in front (such as when the height of the white surface is 55 mm or more, or the height of the black surface is 30 mm or more) and the identified height exceeds the preset one, realizing the anti-drop feature.
Carpet Detection Sensor	The sensor emits 300 kHz ultrasound, whose energy will be absorbed by the carpet, causing the echoed energy to be lower than the threshold. DEEBOT thereby detects the carpet's presence. In the ECOVACS laboratory, more than 50 types of carpets available on the market are identified.
Anti-collision Sensor	With the principle of the Optocoupler Switch, DEEBOT will avoid obstacles when they are about to collide.
Edge Sensor	With Infrared Ranging, the edge sensor detects the distance between the DEEBOT and objects on the side. When there is a wall or obstacles on the right, the DEEBOT performs edge cleaning to avoid missing any spots and prevent collisions.
AIVI Camera	Use AI cameras to collect images of the surrounding environment. Realize video recording. Through interaction with MIC, remote video call can be realized.
Microphone	The microphone captures sound through diaphragm vibrations caused by the human voice traveling through the air. This enables voice recording and Voice Control to direct the DEEBOT to complete the assigned job through the acquisition and algorithms of sound models. The effective wake distance is 5 m.

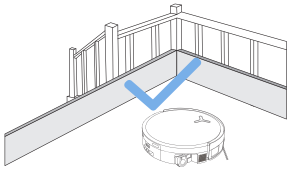
INITIAL SETUP AND USE

1 Notes before Cleaning



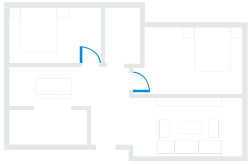
Tidy up the Area to be Cleaned

For the maximum cleaning area possible, put furniture, such as tables, chairs, and pedestal fans, in their proper place and put away low-lying items, such as weight scales, before using DEEBOT.



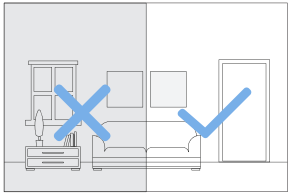
Prevent DEEBOT from Falling

Place a physical barrier at the edge of a drop, such as staircases and steps, to stop DEEBOT from falling over the edge.



Open Doors and Help DEEBOT Explore

Open all room doors to help DEEBOT fully explore your house during the first use.



Provide Sufficient Lighting

Ensure all cleaning areas are well-lit to support DEEBOT's AI camera in accurately avoiding obstacles such as shoes, socks, and cords.



Remove objects, including cables, clothes, and slippers, from the floor to improve cleaning efficiency.



Before using the product on a carpet with tasseled edges, please fold the tassels under the carpet.



Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, to avoid blocking the navigation module.



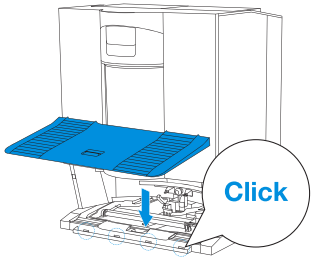
Ensure the clarity of DEEBOT's vision and avoid scratching or smudging the AI camera lens with fingerprints or oily stains. Use a clean, soft cloth to wipe the camera, instead of cleaning agents, detergents, or sprays.

❷ Quick Start

Remove all protective materials before using the appliance.

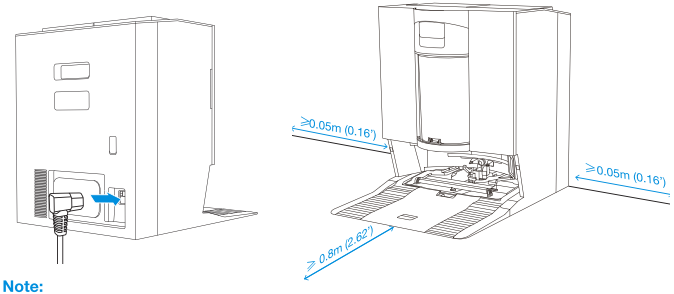
1. Station Installation

The sound of "click" indicates proper installation.



2. Assemble and Place the Station

Place the OMNI station against the wall on a flat, hard surface. Do not place items within 0.05 m on either side and 0.8 m in front. Wrap the excess power cord around the cable management slot on the back of the station.



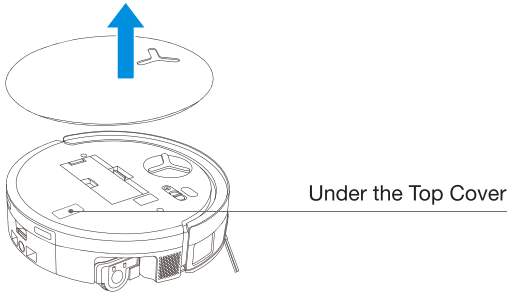
Note:

- If there are reflective objects such as mirrors and reflective skirting lines near the station, the bottom 14 cm of such objects should be covered.
- Do not place the station under direct sunlight or in high-temperature environments.
- Place the station in a location with a strong Wi-Fi signal for a better user experience.

❸ Download ECOVACS HOME APP

To enjoy all available features, it is recommended that you control your DEEBOT via the ECOVACS HOME App.

1. Scan the QR code under the top cover to download the App.



2. search "ECOVACS HOME" on the App Store or Google Play to download the App.

Download on the App Store

Get it on Google Play

ECOVACS HOME

Note: Follow the instructions on the App to complete the registration, login, and connection.

4 Connect DEEBOT with APP

Via Bluetooth: Turn on DEEBOT and your mobile phone Bluetooth. Allow the App to obtain mobile phone Bluetooth permission. Tap to scan the QR Code on DEEBOT or tap or Add in the App to find the nearby DEEBOT.

Via Wi-Fi: You can also choose to connect DEEBOT with the App through other methods according to the prompts on the App's page.

Note: Please connect via Bluetooth for a better experience.

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as those of your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

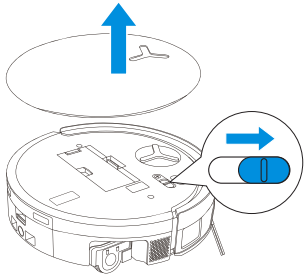
Wi-Fi Indicator Light

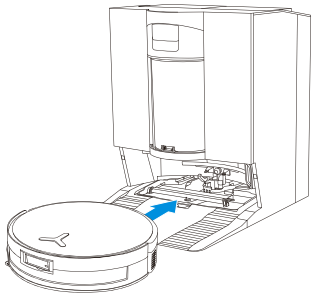
	Slow flashing white light	Disconnected from Wi-Fi
	Fast flashing white light	Connecting
	Steady white light	Connected to Wi-Fi

Please be aware that intelligent features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on the Appliance) require the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement so that we can process some of your essential and necessary information before you can use certain features of the ECOVACS HOME App to control the Appliance. If you disagree with our Privacy Policy and User Agreement, such features will be unavailable. However, you can still use the basic features of this appliance for manual operation.

5 Power on and Charge DEEBOT

Turn on the power switch under DEEBOT's cover **(“ I ”= ON , “ ○ ”= OFF)**,and place DEEBOT in front of the station that is connected to the power supply. Use the ECOVACS HOME App or voice control to recall DEEBOT, or press and hold on DEEBOT for 3 s, to allow DEEBOT to dock for charging.



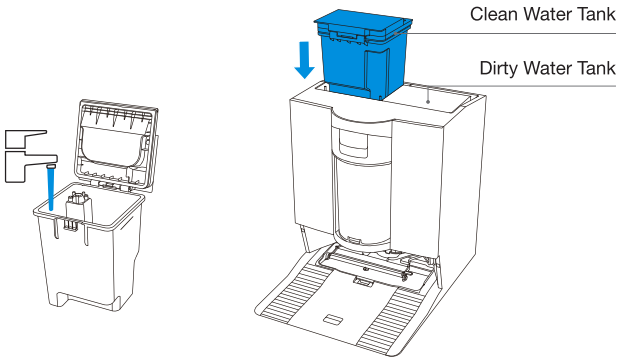


Note:

- DEEBOT cannot charge when it is powered off.
- After cleaning, it is recommended to keep DEEBOT powered on and charging to ensure it is ready for the next cleaning session.
- To ensure DEEBOT can return to charge smoothly after cleaning, start cleaning from the station and avoid moving the station during the process.

6 Fill the Clean Water Tank

Take out the clean water tank, open the tank cover, and fill the tank with water. Close the tank cover and reinstall the clean water tank.

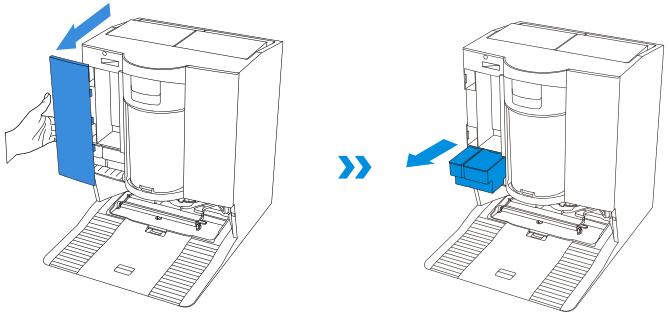


Note:

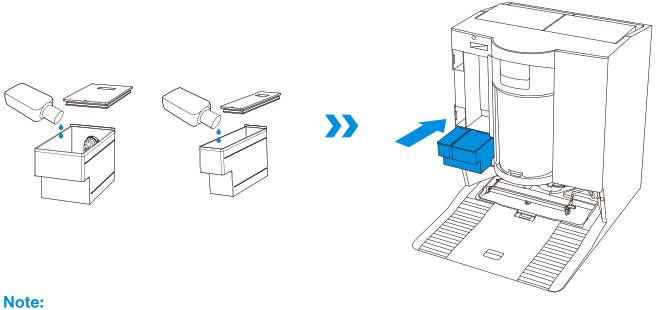
- Use only ECOVACS DEEBOT cleaning solution to avoid malfunctions.
- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Make sure to lock the top covers of both water tanks securely before use.
- Any watermarks in the water tanks are from function testing. Please use it with confidence.

7 Add Cleaning Solution (sold separately)

1. Take off the cleaning solution tank's cover, pull out the two cleaning solution boxes, and place them on a level, hard surface.



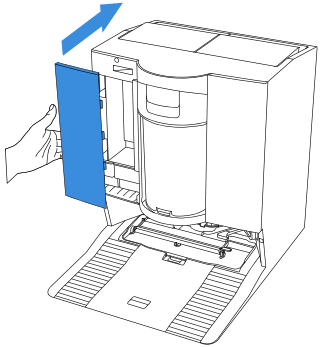
2. Pour the standard cleaning solution into the blue box and the heavy-duty cleaning solution into the black box. After securing the box lids, push them back into the station and close the tank lid.



Note:

- For better performance and longer lifespan of the product, please use ECOVACS DEEBOT cleaning solution (sold separately).
- Do not pour cleaning solution into the clean water tank. Add it to the cleaning solution tank instead. Otherwise, an incorrect ratio may cause excessive foaming and reduce cleaning effectiveness.

3. Return the cleaning solution tank's cover and press the cover firmly to secure it in position.



Note: Please make sure that no foreign objects fall into the cleaning solution box.

8 Operate DEEBOT for Cleaning

1. Start Mapping

When creating a map for the first time, please follow DEEBOT to help with some minor issues.
For example, DEEBOT may get stuck under furniture. Please refer to the following solutions:
① Raise the low-sitting furniture if possible;
② Cover the bottom of the furniture;
③ Set up a virtual boundary via the App.

2. Start Cleaning

- The DEEBOT's water tank is automatically refilled through the station. Manual refilling is not needed.
- When mopping, DEEBOT will recognize floor types and is able to lift mops automatically when encountering carpets. Please do not use DEEBOT on shaggy rugs or carpets with fibres longer than 10 mm. It is recommended to fold up the shaggy rugs with fibres longer than 10 mm during the cleaning process, or set the shaggy carpeted area as a no-entry zone by setting a virtual boundary in the ECOVACS HOME App.

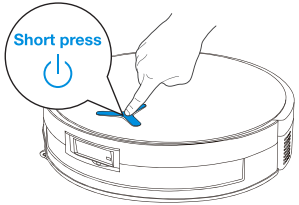
Please ensure that DEEBOT is in the station and is fully charged before cleaning for the first time. Tap ⏻ on DEEBOT to start. You can also use the ECOVACS HOME App or voice control to start.

3. Pause

Tap ⏻ on DEEBOT to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App or voice control to pause DEEBOT.

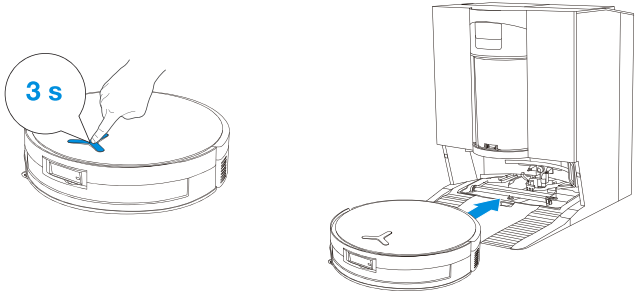
4. Wake Up

After pausing for a while, all indicator lights on DEEBOT will go out. To wake up DEEBOT, press ⏻.



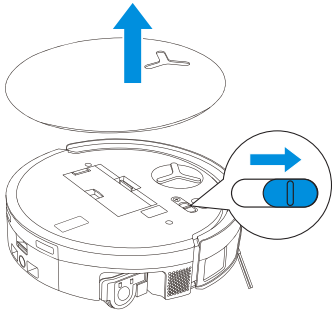
5. Back to Station

Use the ECOVACS HOME App or voice control to recall DEEBOT, or press and hold the ⏻ button on DEEBOT for 3 s, to allow DEEBOT to dock for charging.



6. Deep Sleep Mode

DEEBOT will enter deep sleep mode if it stays outside the station for about 10 h to protect the battery. Please switch OFF and ON to wake DEEBOT up.



When PowerBoost Charging is enabled, DEEBOT will fast charge for about 5 minutes after returning to the station. It will then switch to standard charging and stop automatically once fully charged.

REGULAR MAINTENANCE

❶ Maintenance Frequency

To keep DEEBOT running at peak performance, perform maintenance and replace parts at the following frequencies:

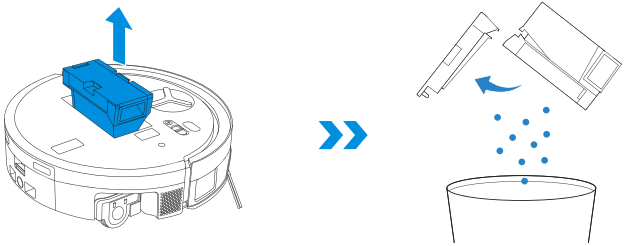
Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Roller Mop	/	Every 1-2 months
Dirty Water Box	Every week	/
Drip Tray	Every week	/
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on DEEBOT Charging Contacts on OMNI Station Navigation Module Navigation Module AIVI Camera	Approx. every month	/
Clean Water Tank	Every 3 months	/
Dirty Water Tank	Every month	/
Body and Bottom of the Station	Every month	/
Mop Washing Tray	Every 5 months	/
Cleaning Solution Unit	Every month	/
Dust Container	After each use	/
Dust Container Filter	Every 3-6 months	Every 3-6 months/ After multiple washes

Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com.

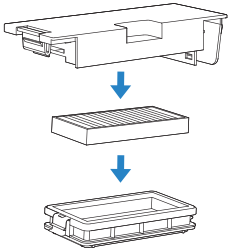
❷ DEEBOT Maintenance

1.Maintain Dust Bin and Filter

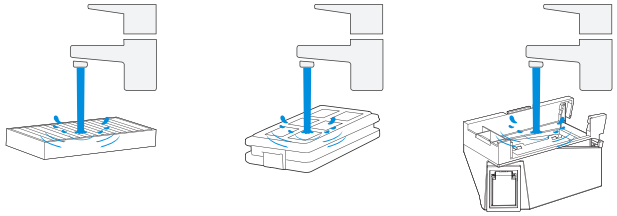
1. Remove the dust bin and then empty it.



2. Open the filter net and remove the filter.

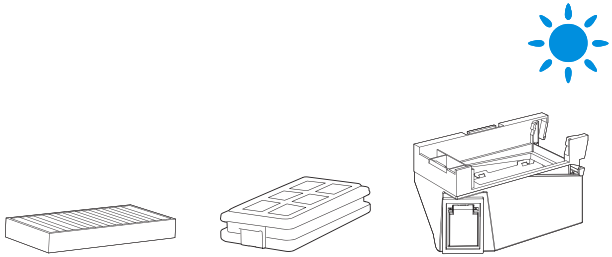


3. Rinse the dust bin and filter with water, and shake off the water droplets.



Note:
- Please rinse the filter with water as shown.
- Do not use fingers or brushes to clean the filter.

4. Air-dry the dust bin and filter.



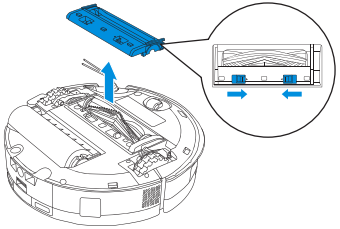
Note: Completely dry the components before use.

2.Maintain Main Brush and Side Brush

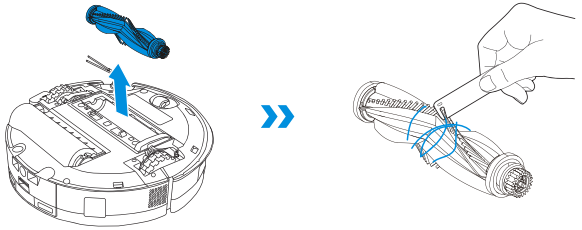
Clean Main Brush

1. Remove the cover from the main brush.

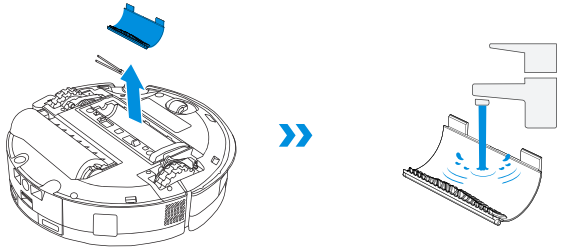
Before turning DEEBOT upside down, please empty any remaining water from the dirty water tank and drip tray.



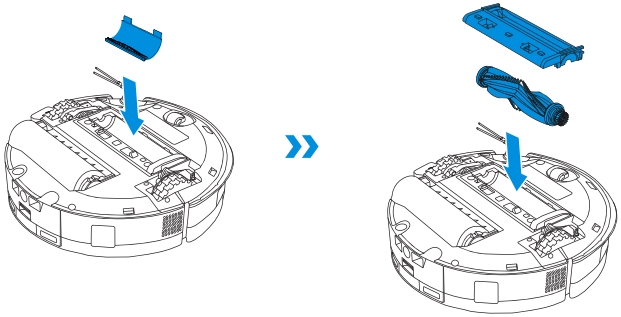
2. Remove and clean the main brush.



3. Remove, clean, and dry the brush comb.

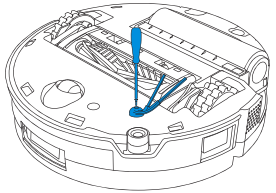


4. Install the brush comb, main brush, and the cover.



Clean Side Brush

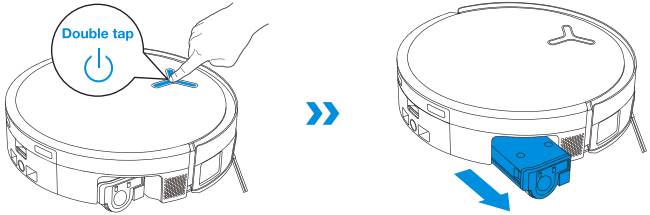
Remove the side brush using a screwdriver and clean it.



3. Maintain Roller Mop

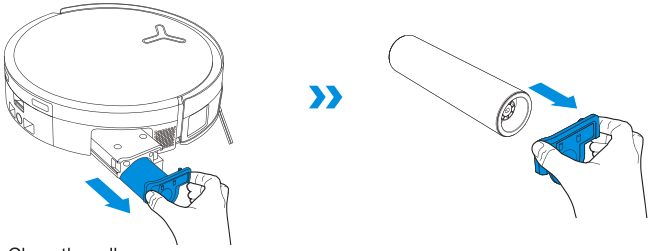
Clean Roller Mop

1. Double tap ⏻ button to release the roller mop component.

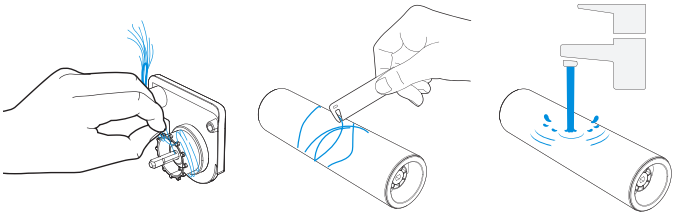


Note: Do not pull the roller forcefully while it is retracted, as this may damage the roller mop component.

2. Press the lateral unlock button to remove the roller.



3. Clean the roller mop.

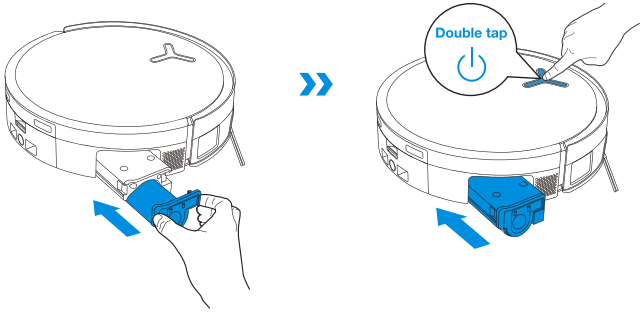


4. Clean inside the roller.



Note: Do not wash DEEBOT with water.

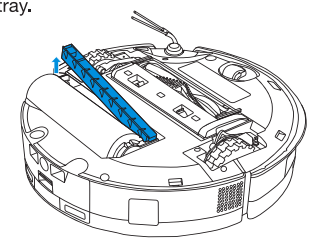
5. Push the roller mop into the roller end cover and double tap ⏻ button to retract.



Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com.

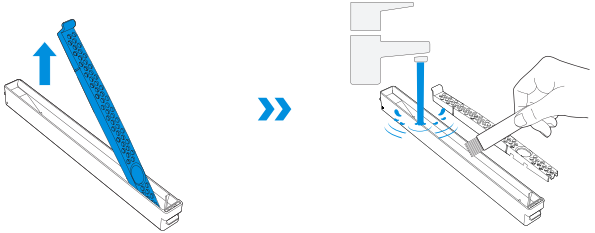
4. Maintain Clean Drip Tray

1. Remove the drip tray.

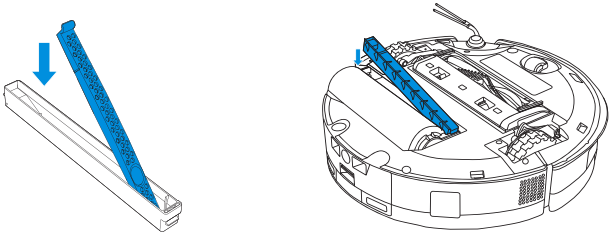


Note: A small amount of residual water may leak out when flipping DEEBOT if it's not in drying mode.

2. Remove and clean drip tray components.

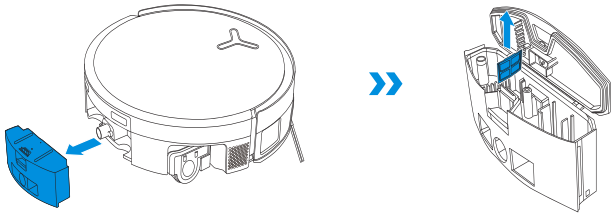


3. Please install the drip tray filter components as shown in the illustration.

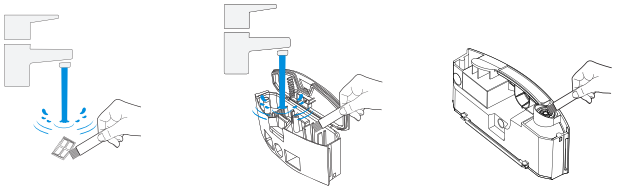


5. Maintain Dirty Water Box

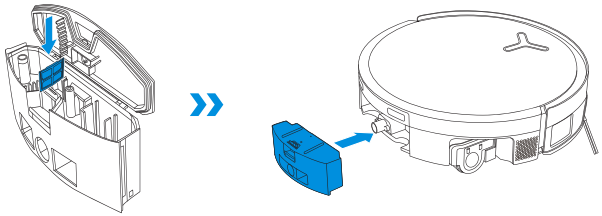
1. Remove the dirty water box and the filter net.



2. Clean the filter net, box, and sewage outlet.



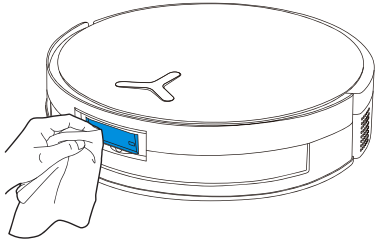
3. Reinstall the filter, press securely, and then reattach the dirty water box cover.



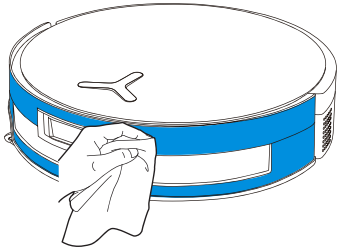
Press the dirty water box cover firmly in the guided direction until its plane is completely flush with the upper edge of the box to ensure a tight seal.

6.Maintain Other Components

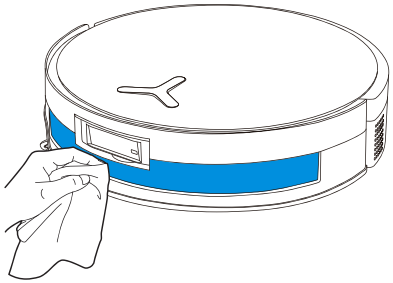
Clean the Obstacle Avoidance Module Lens



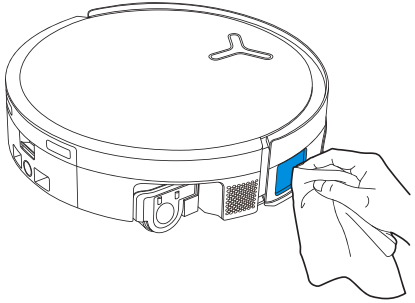
Clean the Bumper



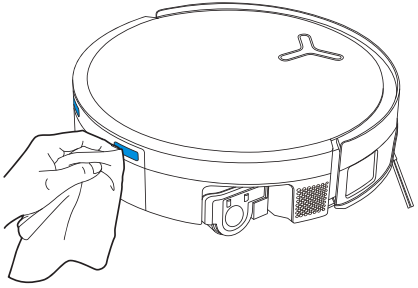
Clean the Navigation Module



Clean the Edge Sensor



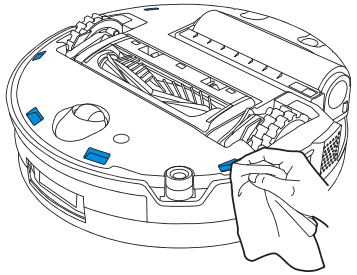
Clean Charging Contacts



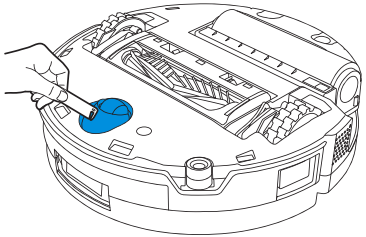
Note:

- Wipe the components with a clean, dry cloth. Never use a wet cloth. Do not use cleaning sprays or detergents, as moisture may cause damage.
- Charging contacts contain sensitive electronic components. Clean them with a dry cloth. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

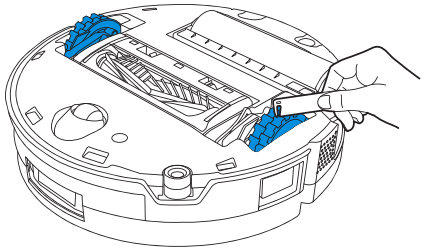
Clean the Anti-drop Sensors



Clean the Universal Wheel



Clean the Driving Wheels

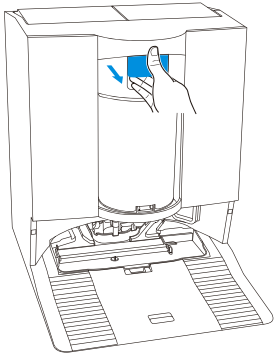


Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com.

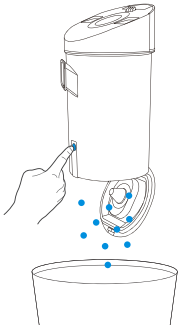
3 Station Maintenance

1. Maintain Dust Container and its Filter

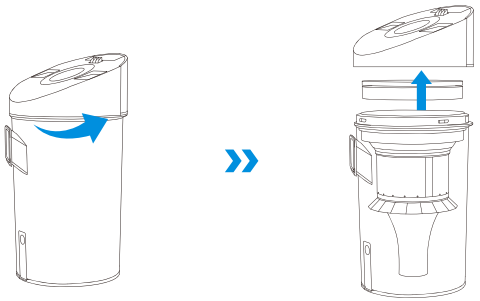
1. Press the container release button, and remove the dust container.



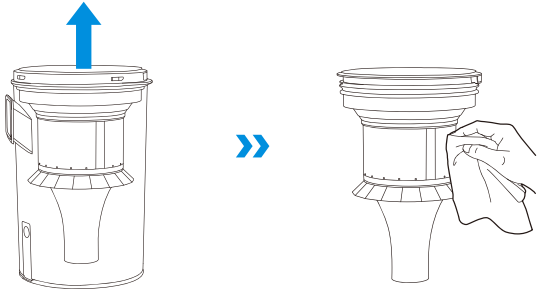
2. Hold the dust container with the bottom facing your trash can, press the dump switch, and the bottom cover of the dust container will open to dump the dust.



3. Twist off the top and remove the filter.

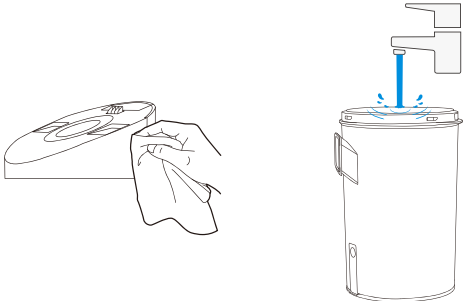


4. Remove the multi-cone structure.



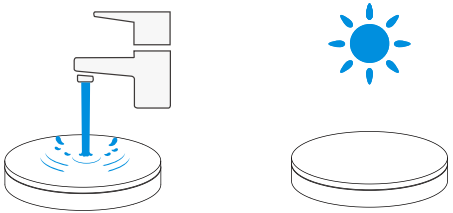
Note: It is not recommended to wash the multi-cone structure. If needed, you can use a wet cloth to wipe it and let it air-dry.

5. Rinse the container with water or wipe it with a wet cloth.



Note: Please make sure to air-dry the dust container before using it again.

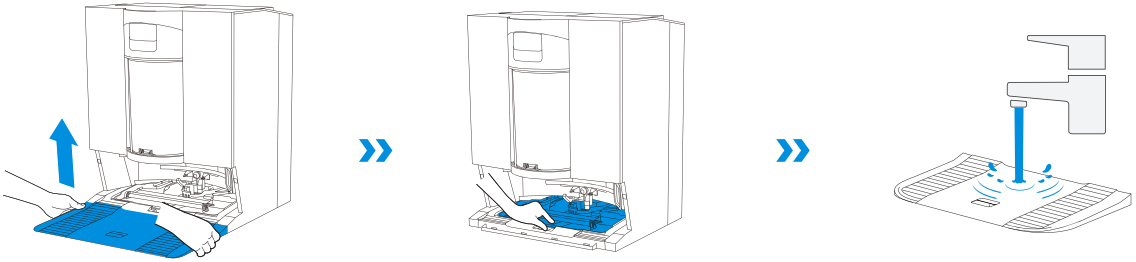
6. Rinse the dust container and sponge filter with water and dry them.



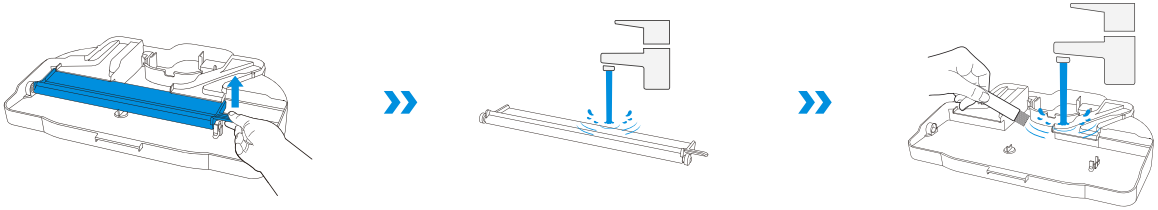
Note: Completely dry the filter before use.

2. Maintain Mop Washing Tray

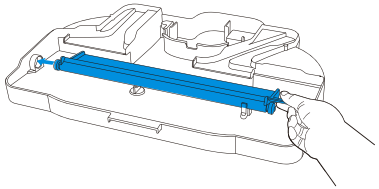
1. Remove and clean the mop washing tray and the station base.



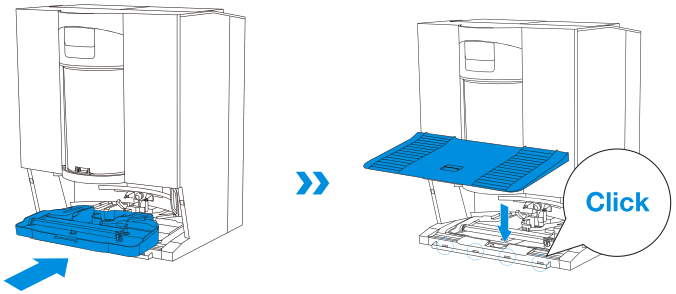
2. Remove and clean the soaking tray.



3. Install the soaking tray.



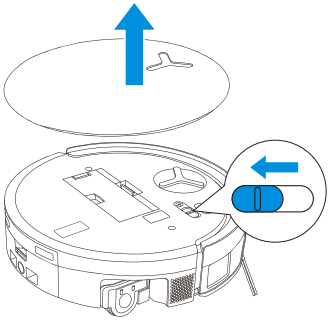
4. Install the mop washing tray and base.



Note: Please install the tray and base properly to prevent malfunction.

4 Storage

Please fully charge and switch OFF DEEBOT before storage. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharging.



Please note that DEEBOT cannot charge when powered OFF.

Note:

- After DEEBOT finishes its cleaning task, it is recommended not to power it off but to keep it charging, to better prepare for the next cleaning session.
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, DEEBOT may not be charged. Please contact ECOVACS for help. Do not disassemble the battery by yourself.
- If you do not use the product for a long time, keep the dirty water box, water tanks empty and the mop dry.

TROUBLESHOOTING

For the following possible issues, refer to the corresponding solutions.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	DEEBOT is not able to connect to the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi username or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		DEEBOT is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure DEEBOT is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		DEEBOT is not in the configuration state.	Press the Reset button to connect DEEBOT to your phone by Bluetooth. If it fails, please press the Reset button + ⏻, and connect via the ECOVACS HOME App.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like ! @#& ¥%/\. 2. Do not use a 5 GHz network.
		An incorrect App is installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
2	Unable to create the furniture map in the App.	Moving DEEBOT when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move DEEBOT.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure DEEBOT automatically returns to the OMNI Station after cleaning.
		Multi-floor mode was not enabled when the second map was created.	Please enable multi-floor mode in the App.
3	The side brush drops out of place during use.	The side brush is not properly installed.	When installing the side brush with a screwdriver, ensure the screw is tightened securely.
4	No signal found. Unable to return to the station.	The OMNI Station is incorrectly placed.	Place the station properly according to the instructions in the **[Power on and Charge DEEBOT]** section.
		The OMNI Station is out of power or has been moved.	Check whether the OMNI Station is connected to the power supply. Do not move the OMNI Station.
		DEEBOT does not start cleaning from the OMNI Station.	It is recommended that DEEBOT start cleaning from the OMNI Station.
		The docking route is blocked. For example, the door is closed to the room where the OMNI Station is placed.	Keep the charging route clear.
5	DEEBOT returns to the OMNI Station before it has finished cleaning.	The room is so large that DEEBOT needs to return to recharge.	Please enable auto-resume. For more details, please follow the App instructions.
		In highly complex home layouts, cleaning efficiency may decrease, possibly resulting in incomplete cleaning.	Simplify your home layout.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
6	DEEBOT is unable to charge.	DEEBOT is not switched ON.	Switch ON DEEBOT.
		DEEBOT's charging contacts are not connected to the OMNI station's charging contacts.	Make sure that DEEBOT's charging contacts have connected to the station's charging contacts and ⏻ flashes. Check whether DEEBOT's and OMNI station's charging contacts are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		The OMNI Station is not connected to the power supply.	1. Make sure the OMNI station is connected to power supply. 2. Once the power is connected, ensure that the motor startup sound can be heard.
		The base has not been installed in place.	Refer to the [Quick Start] section for correct installation.
7	DEEBOT is very loud during cleaning.	The main brush/side brush is tangled, or the dust bin/filter is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust bin, roller mop, filter, etc., regularly.
		DEEBOT is in Strong Suction Mode or Max Suction Power Mode.	Switch to Standard Mode.
8	DEEBOT gets stuck while working and stops.	DEEBOT is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	DEEBOT will try various ways to free itself. If its attempts fail, manually remove the obstacles and restart.
		DEEBOT might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please raise the furniture, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
		DEEBOT is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
9	During cleaning, DEEBOT may encounter issues like a disorderly route, biased movement, repeated cleaning over the same spots, and missing small areas. (If there is a large area that has not been cleaned temporarily, DEEBOT will automatically clean the missed area. Sometimes DEEBOT will re-enter a cleaned room, which may not be repeated cleaning, but DEEBOT finds any missed area.)	Objects such as wires and slippers placed on the ground block DEEBOT.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there is any area missed during cleaning, DEEBOT will correct it automatically. Please refrain from interfering (such as moving DEEBOT or blocking its route).
		The driving wheels may slip on the ground when DEEBOT climbs steps, thresholds, and door bars, which can affect its judgment of the entire home environment.	It is recommended to close the door of the affected area and clean it separately. After cleaning, DEEBOT will return to its starting location.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the driving wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to variations in home layouts, some areas cannot be entered by DEEBOT.	Tidy up your home to ensure that DEEBOT can enter the areas to be cleaned.

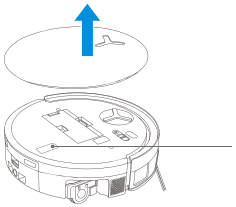
No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
10	Delay in remote control.	The Wi-Fi signal is poor, causing the video loading to be slow.	Use DEEBOT in areas with a good Wi-Fi signal.
11	After returning to the OMNI station, DEEBOT does not empty its dust bin.	The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME App.	Turn on the Auto-Empty function in the ECOVACS HOME App.
		Manually moving DEEBOT back to the station will not trigger the Auto-Empty function.	It is recommended that DEEBOT be allowed to return to the OMNI Station on its own. Please do not manually move it.
		In Do Not Disturb mode, DEEBOT will not empty the dust after returning to the OMNI Station.	Turn off Do Not Disturb in the ECOVACS HOME App or manually start dust-emptying.
		The station detects a decrease in empty efficiency.	Clean the dust container and the sponge filter according to the [REGULAR MAINTENANCE] section, close the dust collection correctly, and install it in the station.
		Check if the dust bin is full and causes a blockage.	Clean the dust bin according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		If the above possible causes have been ruled out, components of the station may be abnormal.	Please contact customer service for assistance.
12	Auto-Empty unsuccessful.	The station detects a decrease in empty efficiency.	Clean the dust container and the sponge filter according to the [REGULAR MAINTENANCE] section, close the dust collection correctly, and install it in the station.
		The outlet of the dust bin is blocked by foreign objects.	Remove the dust bin and clear the foreign objects on the outlet.
		The dust container is not properly installed or firmly closed.	Install the dust container correctly and close it firmly.
13	Dust leakage occurs while DEEBOT is working.	The outlet of the dust bin is blocked by foreign objects.	Remove the dust bin and clear the foreign objects on the outlet.
14	The roller mop does not rotate.	The roller mop is not correctly installed.	Install the roller mop properly according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		The roller mop is blocked by foreign objects.	Clean and install the roller mop properly according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
15	The driving wheel is stuck.	The driving wheel is entangled or stuck due to foreign objects.	Rotate and press the driving wheel to check for any wrapping or obstruction by foreign objects. If any foreign objects are found, please clean them promptly. If this issue persists, please contact customer service for assistance.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
16	The mop washing tray is full of water and cannot be emptied. A voice prompt reports the mop washing tray malfunction.	The dirty water tank is not properly installed.	Tap down on the dirty water tank to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the dirty water tank are not installed properly.	Make sure that the two sealing plugs are properly installed.
		The mop washing tray is not properly installed.	Check and ensure the mop washing tray is properly installed.
		The mop washing tray base gets dirty.	Detach and wash the mop washing tray base with water.
		Check if the floating ball gets stuck when there is no water in the mop washing tray base.	Take out the mop washing tray to put the floating ball back in place.
		The OMNI Station cannot drain water normally.	Place DEEBOT in the station. After ensuring it's charging, double tap ⏻. If the issue persists, please contact customer service for assistance.
		The suction port of the mop washing tray is blocked by foreign objects.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the mop washing tray.
		The voice alert persists after all the above solutions are tried.	Power off and on the station. If this issue persists, please contact customer service for assistance.
17	Dirty water box malfunction or frequent auto-wash.	The dirty water box is overly laden with dust.	Remove and empty the dirty water box, and then rinse it and reinstall. If this issue persists, please contact customer service for assistance.
		The drip tray is overly laden with dust.	Remove and empty the drip tray, and then rinse it and reinstall. If this issue persists, please contact customer service for assistance.

TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	**DEX99-1**		
Rated Input	16.4 V ⎓ 3 A	Fast Charge Input	16.4V ⎓ 9.5A
Charging Time	about 4 h		
Station Model	**CH2512**		
Rated Input	100 V ~ 50-60 Hz		
Nominal charge output	16.4 V ⎓ 3 A	Fast Charge Output (Short time)	16.4V ⎓ 9.5A
Rated Input Current (Charging)	2.5A	Power (Emptying)	4.5A
Power (Hot Water Washing Mop)	12.5A	Power(Mop-drying)	6.5A
Frequency Bands	2400-2483.5 MHz		
Networked Standby Power	Less than 2.00 W		

Output power of the wireless module is less than 100 mW.
Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.
Explore more accessories at https://www.ecovacs.com.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.
No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-24A3-3209